

【資料 4】

第 4 次田尻町総合計画評価報告書

平成 31 年 3 月

田尻町

<目次>

I	第4次田尻町総合計画の取組成果と今後の課題.....	1
II	第4次田尻町総合計画各課ヒアリング調査の取りまとめ	5
II-1	ひとが輝き、未来につながるまち 田尻.....	5
II-2	健やかで、安心して 暮らせるまち 田尻.....	26
II-3	資源が活かされ、魅力あるまち 田尻	45
II-4	みんなでまちづくりを進めるために	61
II-5	戦略プロジェクト	69

I 第4次田尻町総合計画の取組成果と今後の課題

第4次田尻町総合計画の進捗状況を検証し、現行計画における主な取組の成果と今後の課題を次にまとめた。

■第4次田尻町総合計画における主な取組成果

1) ひとが輝き、未来につながるまち 田尻

項目	主な取組成果	今後の課題
1. 人権尊重	○人権課題に対する新たな法整備を受けて周知・啓発事業を推進	新たな人権課題も含め、町の実情等を踏まえた啓発、情報提供の実施、相談体制の充実、セーフティネットの構築。
2. 国際化の推進	○保・幼・小・中において関西国際センターとの交流等を実施	町民と関西国際センターとの交流の活性化。
3. 次世代の育成	○子育てガイドブックの作成・配布 ○保育所・幼稚園などの保育料等を無償化 ○町立幼稚園・子育て支援センターにおいて一時預かり事業を開始 ○ファミリーサポートセンター事業を開始 ○こども医療費助成事業の対象者を18歳まで拡大	福祉相談窓口をワンストップ化するため、現在3つある子どもの窓口の一本化。
4. 学校教育	○田尻町版小・中一貫教育の推進 ○ALTの増員、英検受験への助成など国際理解教育、外国語学習の推進 ○保・幼・小・中におけるICT教育環境の構築	保幼も含めた小・中一貫教育の実践のための組織的な取り組み。 教員の働き方改革も視野に入れた教育課題への取組みの重点化。
5. 生涯学習	○三世代交流促進講座など時代に即した生涯学習講座の開催	SNSなど多様なツールを活用した効果的な情報発信。 多様な年齢層による参加者の拡大、リーダー等人材の発掘・育成の仕組み作り。
6. 歴史・文化	○田尻歴史館（愛らんどハウス）の保全・活用に向け耐震化等の改修事業に着手	愛らんどハウスの保全とさらなる有効活用。

2) 健やかで、安心して 暮らせるまち 田尻

項目	主な取組成果	今後の課題
1. 健康づくり	○各種健診の充実（日曜健診、特定健診・がん検診の同日実施、胃内視鏡検査、妊婦健診等） ○医療体制の充実（広域母子医療センター運営、広域初期急病センター運営）	自らの健康の維持増進に向けた意識啓発、住民主体の健康づくり活動をサポートする保健事業の展開。 健康に対する無関心層への保健事業の展開。
2. 地域・社会の 支えあい	○還暦のつどい等コミュニティイベントの開催 ○広報たじりへの各種団体情報掲載 ○ふれ愛センターの休日開館、フリースペースで集える場所を提供 ○介護支援サポーターの養成講座の実施	各種団体の高齢化、地区会加入率の低下などへの対応と新しい担い手の育成。 ボランティア活動の場の拡充。
3. 高齢社会・障 害福祉	○介護予防事業の推進（体操・筋トレなど各種教室の開催、介護ポイント） ○田尻町独自の取組みとして、多職種連携会議「たじりっちねっと」を医師や介護職など他職種の連携、情報交換のネットワークとして実施 ○障害福祉の推進（基幹相談支援センター運営、町施設等のバリアフリー化）	要介護認定ではないが移動に困っている人や銀行やスーパー、病院など自分で行きたいところに行くための移動支援サービスの必要性。 田尻町の介護、高齢者、障害者の相談窓口として基幹相談支援センターの設置。
4. 安全・安心	○消防広域化による消防・救急体制強化 ○自主防災会の育成・支援 ○防犯カメラ・防犯灯の増設	田尻町の実情に応じた自主防災組織の改編。災害時の連携について自主防災会と民間事業者も含めて連携を広げる体制づくり。 活動する人が集まるよう地域の防犯活動組織の一本化。
5. 住宅・住環境	○三世代同居近居新生活スタート助成事業 ○公営住宅の適正な維持管理、計画的に長寿命化	空き家対策などへの取組み。

3) 資源が活かされ、魅力あるまち 田尻

項目	主な取組成果	今後の課題
1. 自然・環境保全	○農業委員の協力のもと、小学校・幼稚園の田植え・稲刈り体験を実施 ○りんくうポート北広場の計画や、田尻町ウォーキングコース（散策ルート）整備計画のための住民ワークショップ開催（平成 29 年度）	市町村単独ではなく周辺市町村と広域共同での地球温暖化対策地域編計画策定など取組みの検討。
2. 都市整備	○吉見ノ里駅周辺整備（踏切拡幅） ○（仮称）りんくうポート北広場の整備計画 ○コミュニティバスの運行（2019 年 5 月予定） ○国土調査（地籍調査）の推進（事業終了）	利便性のある道路整備の検討。 吉見ノ里駅のバリアフリー化ほか利便性の向上。
3. 生活環境	○上水道事業の広域化（大阪広域水道企業団への統合） ○下水道ポンプ場の耐震化・長寿命化 ○有料化及び廃プラの分別回収によるごみの減量化 ○吉見墓地を拡充（平成 27 年度）	ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の適正な維持管理及び改築・更新。 ごみ処理体制の広域化。
4. 情報・通信	○基幹系システム、庁内ネットワークシステム、インターネット端末におけるセキュリティ強化	情報化の推進と継続的なセキュリティの向上。 多言語化および視覚障害などアクセシビリティへの対応。
5. 産業振興	○観光漁業推進への支援 ○泉州黄たまねぎの普及促進 ○りんくうポート地区における企業誘致の推進 ○観光促進策として関空島内連絡バスにラッピング広告を実施 ○DMO（KIX 泉州ツーリズムビューロー）への参画	農地の有効活用と担い手の育成。 関空利用の外国人観光客などインバウンドへの対応。

4) みんなでまちづくりを進めるために

項目	主な取組成果	今後の課題
1. 参画と協働のまちづくり	○公園や児童遊園、駐輪場などで、住民団体が花植えボランティアとして花の管理 ○りんくうポート北広場整備について、住民ワークショップにより基本計画の策定	SNS 等広報媒体の多様化に対応した情報発信の充実 各種団体のネットワーク強化
2. 行財政運営	○定員管理計画策定、公共施設等総合管理計画の策定	公共施設等の適正な維持管理、計画的な改修や更新の検討。
3. 広域連携	○広域福祉課設置（H25.4.1～泉佐野市に事務所） ○広域まちづくり課設置（H29.10.1～泉南市に事務所） ○一部事務組合の再編（ごみ、し尿）	効果的な広域行政の推進

Ⅱ 第4次田尻町総合計画各課ヒアリング調査の取りまとめ

第4次田尻町総合計画の進捗状況と取組成果、課題について、関係各課へヒアリング調査を行い、施策課題とニーズを把握した。各課ヒアリング調査調書を次に取りまとめた。

Ⅱ-1 ヒトが輝き、未来につながるまち 田尻

1. 人権尊重

(1) 人権の尊重

①人権のまちづくりの総合的推進：企画人権課

*主要施策の進捗状況の表記

A：達成

B：概ね達成

C：達成できない

D：未着手

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
社会情勢や町の実情に即したテーマの講演会や映画会等の実施。 大阪府が開催する研修や部落解放・人権大学講座、部落解放・人権夏期講座等積極的に受講。 部落解放全国研究集会、人権啓発研究集会、近畿地区人権同和行政推進協議会研究集会等に参加。 泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会や岸和田人権擁護委員協議会とも連携、協力し啓発の実施。	B	職員の資質の向上、各種団体長や参加者への啓発	人権について考える機会のない方、無関心な方の参加者に対しての啓発	社会の情勢や町の実情に応じたテーマを選定し、講演会等の継続実施
人権協会： ・講演会や映画会等の実施。 ・たじりじんけんサポーター制度を開始し人権意識の向上を図る。 ・人権に関する講演会を実施 ・子どものための人権映画会の実施等 ・地域啓発リーダー、指導者育成講座は未実施。	B	職員の資質の向上、各種団体長や参加者への啓発	専門的な知識を持つ人材の発掘、リーダー、指導者の育成。	継続実施

②人権に関する教育・啓発の実施：企画人権課・指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
広報たじりでの人権コラムや啓発記事の掲載 人権啓発活動委託事業：映画から人権・人権をみつめる映画会（年1回）	B	その年の情勢等からテーマを選定し映画会を開催することで、人権について考える機会がなかった人や関心があった人でも参加してもらいやすく、年々参加者が増えており、啓発に繋がっている。	人権について考える機会のない方、無関心な方の参加者が少ない。	継続実施 より多くの方に関心を持ってもらえるテーマの選定により参加者を増やし、人権を考える機会の提供と啓発活動の実施し、人権意識の向上を図る。

田尻町人権教育研究協議会・田尻町外国人教育研究協議会の実施。町教職員研修での種々の人権課題に対する研修会の実施。	B	同和問題やLGBT など継続課題に合わせて喫緊の課題認識を進めることができた。	教職員の入れ替わりによる蓄積の難しさ。指導スキルや考え方を継承するシステムの構築	教員の若年化に合わせて必要な研修を適切に実施していく。田人研・田外教での研究でも継続課題だけではなく、現代的な課題も取り扱う。
--	---	---	--	---

③人権相談体制の充実：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
広報たじりにてあらゆる人権問題の情報提供や啓発記事の掲載、庁内施設にリーフレットの配架。 大阪府や各関係団体が主催する新たな人権課題に対する研修会や勉強会に参加。 泉佐野・熊取・田尻事業所人権連絡会において、各事業所に対しての講演会や情報提供、啓発の実施。 人権相談、就労相談、進路選択支援相談等の庁内関係課、関係機関と連携し、複合的な問題を抱えている相談者には関係者、関係課によるケース検討会議の実施。	B	広報を通じて新たな人権課題に対する情報提供や啓発の実施。 職員の資質向上。 明確なセーフティネットの構築までは至っていない。	複雑化・多様化する新たな人権課題への対応、啓発。 セーフティネットの構築	継続実施 新たな人権課題も含め、町の実情等を踏まえた啓発、情報提供の実施。 相談体制の充実。 セーフティネットの構築。

(2) 男女共同参画の推進

①男女共同参画社会に向けた意識改革：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
2014（平成26）年8月に実施した町民意識調査の結果や現行プランの達成状況等を踏まえ、2024（平成36）年度を目標年度とする「第2次田尻町男女共同参画プラン」を策定。社会の情勢や町の実情に即したテーマの講演会、講座の実施。	B	社会情勢の変化に伴い、適切な施策の推進を図るため、プランの見直しを行った。	啓発事業や各種講座等の充実	継続実施より多くの方に関心を持ってもらえるテーマの選定により参加者を増やし、男女共同参画を考える機会の提供と啓発活動を実施し、町民意識の向上を図る。

②人材育成と女性の登用：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H29 町の審議会や委員会等への女性の登用状況 審議会 27.2%/委員会 13.3% H29 女性管理職登用状況 14.3%	C	第2次田尻町男女共同参画プランにおける目標数値達成には至っていない。	職員研修の実施 男女共同参画に積極的に取り組む人材や団体の発掘、育成。	継続実施

③男女がともに働き続けられる環境の整備：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
広報たじりでの啓発記事の掲載やポスター掲示 社会情勢や町の実情に即したテーマの講演会、講座の実施。	C	参加者や各種団体長への啓発や情報提供を行うことが出来ている。	無関心な方への啓発、周知	継続実施

④男女共同参画に関する相談体制の整備：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
女性総合相談事業（女性専門 カウンセラー・毎月1回・3 枠各回50分）	B	女性の悩みやDV被害者の救済に資することが出来ている。	女性総合相談事業の周知	継続実施

2. 国際化の推進

(1) 国際化の推進

①多文化共生のまちづくり：企画人権課・指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H25 年度 田尻町人権協会主催「あきらめない心～未来は自分で変えられる～」 世界人権宣言に関する記事を毎年広報たじり 12 月号へ掲載。 人権講演会の実施。 広報たじりによる啓発記事等の掲載 庁内施設へのリーフレット配架。	A	外国人差別の問合せや相談がない。 職員の資質向上 各種団体長や参加者への啓発	潜在的な差別被害者の把握 無関心な方への啓発、周知	継続
広報たじりやホームページでの情報発信	C	観光ガイドマップの多言語化	広報紙、ホームページ等の広報媒体の多言語化が本町は進んでいない	継続 広報媒体の多言語化を図るとともに、外国人の意見を施策に反映できるような環境づくりを行う。
田尻町人権教育研究協議会・田尻町外国人教育研究協議会の実施。町教職員研修での種々の人権課題に対する研修会の実施。	B	同和問題やLGBTなど継続課題に合わせて喫緊の課題認識を進めることができた。	教職員の入れ替わりによる蓄積の難しさ。指導スキルや考え方を継承するシステムの構築	教員の若年化に合わせて必要な研修を適切に実施していく。田人研・田外教での研究でも継続課題だけではなく、現代的な課題も取り扱う。

②国際交流の推進：企画人権課・指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
田尻町国際クラブへの補助金支出	B	これまで国際クラブによる、各種国際交流事業・ふれあい交流祭り・国際支援等が実施されてきた。	国際交流活動を行っている団体が町内には田尻町国際クラブしかなく、その国際クラブも会員の確保が困難となっている	継続
小学4年生の関空からの出前授業・見学。中学2年生の関空でのインタビュー活動。保幼小中でのALTの活用。中学生への英検受験全額補助。	B	子どもの英語を使ったコミュニケーション能力の向上	小・中学校における英語の授業改善の充実	英語の授業づくりを充実させるための支援や、ALTの効果的な活用

(2) 平和の推進

: 企画人権課・指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
広報たじりでの啓発記事の掲載やポスター掲示 平和について考えるパネル展の開催(8月上旬に公民館ロビーにて)	B	戦争の悲惨さや平和についての考える機会を提供できている。	無関心な方への啓発・周知	継続実施
8/6・8/9 実施の平和登校日・沖縄修学旅行での当事者聞き取り学習・沖縄修学旅行報告会・文化祭での演劇	B	戦争から考える平和・沖縄基地問題等を通じた、平和に関する意識の醸成	拉致問題やヘイトスピーチ等の課題への取り組み	より広い視野で平和について考えることができる子どもの育成

3. 次世代の育成

(1) 子育て支援体制の充実

①子育てに関する情報提供・相談の充実：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
- 各年代に応じた教室等の実施 - H29 ガイドブック作成。転入、出生、児童手当現況届時に窓口にて配布	A	子育て世代への支援センター事業の周知をおこなった。またガイドブックの配布により子育て世代に必要な情報がわかりやすくなった。	制度改正によるガイドブックの更新が必要。また広告などを入れて製本の無料化も検討。	- 支援センター事業の充実 - ガイドブックの更新

②子育て交流の促進：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
子育て支援センター事業をはじめとする各種事業にて、保育世帯同士の交流の促進や、情報提供を推進している。	A	各種事業にて親子や親同士での交流の場の提供、保育等についての情報提供を行っている。	—	- 保育関連事業の充実 - 情報伝達手段の構築

③保育サービスの充実：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
- ファミリーサポート事業の実施 - 年1回提供会員・両方会員向け講習会開催 - 幼保合同保育の実施 3～5歳児保育料及び給食費の無償化 - 無償化に併せ私立幼稚園への就園補助の引き上げ - 一時預かり事業（一般型・幼稚園型）の実施 - 子育て短期支援事業の実施 - 近隣にある複数の児童養護施設等と契約	A	- ファミリーサポートセンター事業及び子育て短期支援事業により、多様な理由で一時的な児童の預かりを必要とする子育て世帯のニーズに対応できるようになった。 - 保育料等の無償化により子育て世代の経済的な不安を軽減することで、誰もが安心して子どもを生育でき、子どもがいきいきと健やかに育つ環境づくりができた。 - 一時預かりについては当初見込みを大幅に上回るニーズがあり、できる限りの受け入れを行った。 - また、一時預かり事業により育児疲れ等による保護者の心理的・身体的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整え、児童の福祉の向	- 子育て短期支援事業について、受入先である児童養護施設等の空き状況により利用が可能か左右されるため、状況によっては利用が困難になる可能性がある。 - 保育料等の無償化の影響による保育所入園希望者の増加及び全国的な保育士不足により、今後待機児童が発生する可能性がある。 - 一時預かりについては実績に応じて安全な受け入れができるような保育士等の配置、体制を続けていかなければならない。 - またそれに伴う予算措置を長期	- 子育て短期支援事業における受入先の児童養護施設等の拡大。 - 幼保合同保育の推進と保育内容の充実 - 国の保育料無償化に加え、独自施策として3～5歳児の給食費の無償化 - 国の無償化に加え、私立幼稚園への就園補助金の上乗せ - 待機児童の解消 - 延長保育、一時預かり事業など、保護者の就業形態などに応じた多様な保育サービスの充実

		上を図ることができた。	的に考えていかなければならない。	
--	--	-------------	------------------	--

④放課後児童の健全育成：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
・イベントの実施等キッズルーム利用者数増に向けた取り組みを行う ・放課後児童健全育成事業（なかよし学級）における定員及び受入年齢の拡大と開所時間の延長	A	・キッズルーム利用者数の増加 H27：2,081人 H28：4,793人 H29：6,650人 ・放課後児童健全育成事業（なかよし学級）における定員及び受入年齢の拡大と開所時間の延長により子育て支援の充実に図れた。	・なかよし学級の施設の老朽化	・キッズ・ルームを子どもたち遊びと学びの場とするとともに、子育て中の保護者の交流の場とする。 ・放課後児童健全育成事業を実施し、子育て支援の充実に図る。

⑤子育てに伴う経済的負担の軽減：こども課・学事課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
・こども医療及びひとり親家庭医療に係る自動償還システムの導入（H30） ・こども医療費助成事業の対象者の年齢上限を18歳到達年度末までに拡大 ・私立幼稚園に通園する保護者の経済的負担を軽減するため私立幼稚園就園奨励事業及び就園補助事業を実施	A	・こども医療費及びひとり親家庭医療費の助成について、利用者の拡大やシステム導入により、必要な医療を容易に受けられるよう、子育て支援の充実に図れた。	—	・こども医療費及びひとり親家庭医療費の助成内容の充実。
就学援助費の受給資格者に小学校就学予定者を追加し、新入学学用品について、就学前の早期支給を実施した。	A	保護者等の経済的負担の軽減を図った。	制度及び基準等について、近隣市町の動向を踏まえ、その改正等迅速な対応が必要とされる。	支給額に係る対象限度額の見直しを図る。

⑥子どもと親の健康づくり：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
妊婦教室や親子教室等での食育や健診での育児・栄養相談や指導	A	健診や教室等を通して、正しい知識の提供や育児・栄養相談を実施した。	育児や栄養に関する不安や問題に対して個別性をもった関わりをおこない、様々な場面での情報提供を実施していく必要がある	今後も継続して教室や健診等を通じて相談事業を実施していく

⑦仕事と家庭生活との両立支援：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
さまざまな保育サービスは実施しているが、育児休暇の取得促進等について事業者への働きかけはできていない。	C	—	町内には事業所も少なく町独自の働きかけは困難である。	国、府の動向を踏まえ、仕事と家庭生活との両立支援を実施する。

⑧子どもの権利擁護：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
・学期末ごとに関係機関からの聞き取り及び対策会議を実施。年1回有識者を交えた代表者会議の実施。	A	関係機関との情報の共有及び支援の方向性の確認ができた。	専門家の育成及びケース検討が少ないため即座の判断、対応が困難である。	専門家の配置及び研修によるスキルアップ

⑨ひとり親家庭の生活支援と自立促進：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
窓口において、児童扶養手当及びひとり親家庭医療費助成等に係る制度の啓発や児童家庭相談への案内を行っている。	A	関連する制度や相談窓口の案内を一体的に行い、対象者に必要となる支援情報の提供を漏れなく行えた。	相談先や制度の存在を知らず、内に抱え込む対象者については把握が困難であり、十分な情報提供が行えない。	HPにおける支援制度や窓口案内の内容を充実し、対象者が最初のきっかけとなる情報を取得しやすいように努める。

(2) 子どもたちを健やかに育む環境づくり

①教育環境の整備：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
中学2年生に親学習の実施教育相談の実施並びにS W（スクールソーシャルワーカー）・S C・学校・教委との連携の強化	B	児童生徒対応を中心に、諸機関が連携してサポートを進められる体制整備が進んだ。	それぞれの意識の醸成や役割分担、何より当該者であるという気持ちを高める必要がある	地域に開かれた学校、おらが学校としての意義を大切に、町全体で子育てを進められるよう連携強化を進める。

②青少年活動の支援：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
t r y あんぐる活動（ウォークラリー開催、ハートフルコンサート開催等）、ワイワイフェスタ開催、	B	地域の結びつきが深まっている。	後継者の確保。ニーズの多様性。	内容精選した上での取組み。
成人式開催	B	青少年の行事への積極的な参画の機会を設け、運営できた。	青少年の参画者の拡大、内容の検討。	内容精選した上での取組み。

③子どもの安全の確保：都市政策課・学事課・生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
街路灯、舗装等の整備、維持管理を行い、安全、安心に通行できる道路整備に努めている。	B	通学路等の交差点表示、グリーンベルト化吉見ノ里駅踏切の拡幅（和歌山側）	—	吉見ノ里駅踏切の拡幅（和歌山側）に向けた調整等
見まもりデーについて、毎学期の始業式及び終業式において実施した。また、見まもり活動においては、その活動地点を町内 4 地点から 5 地点に増設した。	B	見まもり活動地点の増設により、児童を安全かつ安心に見まもることに努めることができた。	町広報媒体等を通じて、広く住民参加を促す。	見まもりデーの実施強化により、安心して安全に児童を守る住民意識の向上を図る。
各種団体と連携し、青色防犯パトロールを実施。 また、夏季や年末は重点期間として、青パトだけでなく自転車によるパトロールも実施。	B	平均して 通常月 3 回/月 重点期間は 3 日に 2 日のペースでのパトロール活動	通常月のパトロールが少ない	パトロールの強化

4. 学校教育

(1)「生きる力」を育む保・幼・小・中一貫教育の推進

①保・幼・小・中一貫教育の実践：指導課・こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
小中一貫教育部会は7つの部会（学力・体力・進路・授業づくり・ICT・道徳等）で事業を展開。何より小中の職員間の連携を重要視。	B	各部会での授業交流や情報共有を行うことで連携教育を推進できつつある。	職員の異動や発達段階の差によって求めるものからより一層の摺り合わせが必要。	保幼も含めた一貫教育の実現のため、ICT環境を活用した15年間に渡る情報共有を推進する。
キャリア教育のカリキュラムや道徳教育・人権教育の推進。	B	道徳教育は小中合同研修の実施	教育課題が山積する中、どの項目を連携で行うかの精選	教員の働き方改革も視野に入れ、重点化を図る
<②魅力あふれる幼稚園づくりと同内容>	—	<同>	<同>	<同>

②魅力あふれる幼稚園づくり：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
・幼児期の特性を踏まえた環境を通して行う教育の充実（本物に出会う経験）。 ・平成30年度より3歳児幼保混合クラスの開始。	A	・園内公開保育などで発信し、知ってもらい評価に繋げることができた。 ・3歳児より3年間を見通して幼保の機能をより高めながら幼保一元化教育の充実を図ることができた。	・乳児保育と家庭保育の違いなど、乳児期の育ち（発達）の差	幼児教育の充実を図ることで、子どもたちの心情、意欲、態度を育てていく。
・農業委員、民生委員及び自主団体（はっぴいぶっく、手品クラブ）との交流 ・園内栽培による収穫物を給食食材として使用	A	地域との交流及び地元食材（米）を活用した食育を行うことで教育の充実を図ることができた。	団体との日程調整等	地域と連携し開かれた幼稚園づくりを促進する。

③学校経営・教育指導体制の充実：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
教職員夏季研修等による人権研修の実施。小中学校への指導主事の派遣。	B	同和問題をはじめ、種々の人権課題に対する意識の向上	継続課題と、現代の課題との両方に対応できる教員の育成	研修会の充実

④心の教育の推進：指導課・企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
道徳教育充実のため、研修会・公開授業の実施。	B	小学校道徳の日の地域公開により、周知することができてきている。	道徳の教科化が行われ、今後ますますの研究が必要	充実

教職員夏季研修等による人権研修の実施。小中学校への指導主事の派遣。	B	同和問題をはじめ、種々の人権課題に対する意識の向上	継続課題と現代の課題との両方に対応できる教員の育成	研修会の充実
人権擁護委員による人権教室 H27 田尻町立小学校 対象：小学校 3 年・5 年 内容：H28・H29 田尻町立幼稚園・保育所 対象：5 歳児 内容：人権紙芝居「ぐらぐらもりのおばけ」	B	人権教室を通して、子どもたちに人権擁護委員の存在や活動を周知する機会や、人権を考える機会の提供をすることが出来ている。	人権擁護委員の仕事内容や相談に繋がれるように周知する。	継続実施

⑤自ら学ぶ力の育成：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
学生ボランティアを活用した放課後学習及び授業での個別支援。JFA（日本サッカー協会）からトップアスリートを招聘し、小学 5 年生を対象に「夢の教室」を実施	B	学力低位層の底上げ目標を持つこと・仲間と協力することの大切さを肌で感じることができた。	学力に対する教員の意識改革。上位層の引き上げも視野に入れた授業改善。	学力のみならず、心の涵養も含めて事業の充実を図る

⑥地域ぐるみ教育の推進：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
社会科・総合的な学習の時間を活用した取り組みの実施。	B	地域の物的リソース（役場・ふれ愛・公民館・商店等）の学習は一定定着してきた。	人的リソースについては、これまでの取り組みを継続するだけではなく新規開拓が必要。	地域に開かれた学校の在り方を見直し、ゲストティーチャーなど、当事者との出会いにより感じる・考える機会を設けていけるよう支援する

⑦国際理解教育の推進：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
小学校での交流活動・担任、ALT との外国語学習。	B	学級担任が外国語の授業を行うことの意識付けが一定できてきた	指導スキル向上の必要性・研修の充実	国・府の動向を的確に捉え、外国語専門教員等の加配があれば、積極的に活用し、外国語教育の充実を図る

⑧情報教育の推進：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
ICT環境を活用した授業づくり、校務の効率化	B	ICTを活用した視覚支援のある授業が通常になってきた	利用していく中で、改善の余地が見つかってきている。学校と教委の連携でよ	機器の増加、活用の一層の促進、プログラミング教育の実施

			り良い環境構築が必要	
--	--	--	------------	--

⑨環境・防災教育の推進：指導課・生活環境課・危機管理課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
牛乳パックのリサイクル、田尻川クリーン作戦への参加	B	牛乳パック回収の定着、小学5年生の総合的な学習の時間での環境調べ	児童生徒の地域行事への参加促進	教科横断的な学習の中で、子どもが将来の地球を守ろうという意識を醸成するために現状の理解と、改善の手立てを学び、実践に移すことができるよう指導
直接的な事業展開はないが、必要に応じて助言等の事業サポートを行える体制を整えている	B	直接的なものはなし	特になし	今後も継続して業務を行う
避難訓練（火災・自然災害）	B	津波想定訓練と、駅上広場への避難の実施	より実践的な訓練の実施	主体的に考え、行動できる子どもの育成と合わせて、基本的な集団行動についての徹底を図る
小学校新一年生対象に、学校の避難訓練や防災学習時に、防災セット（非常用持出袋他5点）を配布し啓発している。	A	災害時の避難や持出袋の必要性を理解できている。	—	—

⑩健康教育の推進：指導課・健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
縄跳び週間・生活の記録週間・各教科での食育・体育の実技カードの作成	B	児童の家庭生活改善に保護者と共に取り組むことができたようになった。	児童生徒が自分の成長を感じ取れるよう視える化を図る	can doリストのように何ができるようになったか、次の目標は何かを自覚できるようにする
<1.健康づくり(1)生涯にわたる元気づくり④食育の推進と同内容>	—	<同>	<同>	<同>

⑪特別支援教育の推進：指導課・学事課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
就学支援相談、発達検査の実施と活用、支援教育の充実	B	支援学級・通級指導教室の充実	個別の教育支援計画・指導計画の改善・活用	インクルーシブ教育システムの実現に向けた教員の育成
校外学習、職場実習交通費及び交流学习交通費の支給を追加する等就学奨励費目の拡充を行った。	A	保護者等の経済的負担の軽減を図った。	就学奨励費における対象限度額の引き上げを図る。	国で定める奨励費の支給額に係る対象限度額の見直しを図る。

⑫心の問題への対応：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
SC・SSWの配置・活用	B	学校・教委と協働で課題解決に向けての取り組みが定着	SC・SSWに頼るだけではなく、その知識・経験を教員にどう蓄積していくか	各種専門家と学校の連携により、児童生徒の教育環境の充実を図る
種々の生徒指導課題に対する研修会の実施	B	教員1人ひとりの指導力の向上	組織対応の徹底	学校長のリーダーシップのもと、教委と連携した改題解決へのシステムの構築

(2) 教育環境の充実

①施設・設備の充実：学事課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
小・中学校における非構造部材等の耐震化を行うことができた。また、空調設備の老朽化対策についても、更新計画の策定及び更新工事を行うことができた。	A	左記の内容・実績のとおり、小・中学校施設において、非構造部材等の耐震改修を行うことができた。また、空調設備についても、平成29年度より計画的な更新を進めることができた。	施設の管理計画を検討していく必要がある。	建替え等も踏まえた学校施設の管理計画を検討する必要がある。

②学校給食の充実：学事課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
学校給食調理等業務の委託内容の更新等を行いながら安全安心な給食の提供と将来にわたり安定した給食の管理運営を行うことができた。また、学校給食を通じた食育の推進や地場産品の活用を図ることができた。	A	左記の実施内容・実績のほか、学校給食費の一部を町が負担し、また、給食献立の品数を4品から5品に増やすなど、給食のより一層の充実を図ることができた。	学校給食場内厨房機器を含めた施設の更新を検討していく必要がある。	現計画の方向性を維持しつつ、学校給食の一層の充実を図っていく。

③安全対策の推進：指導課・生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
SGL（スクールガードリーダー）の活用	B	交通・防犯の両面からのアプローチの実施	継続実施にかかる後継者の育成	SGLだけではなく、地域ぐるみで子どもたちの安全を守る意識の醸成
各種団体と連携し、青色防犯パトロールを実施。	B	平均して通常月 3回/月	通常月のパトロールが少ない	パトロールの強化

また、夏季や年末は重点期間として、青パトだけでなく自転車によるパトロールも実施。		重点期間は3日に2日のペースでのパトロール活動		
--	--	-------------------------	--	--

③安全対策の推進：学事課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
学校施設内において、防犯カメラを小学校に3基、中学校に4基の設置を行った。	A	防犯カメラの設置により、犯罪の抑止力につながった。	定期的な点検により、適切な維持管理及び更新を図る。	防犯対策の充実により、学校施設内の安全強化を図る。

(3) 地域に開かれた学校・幼稚園づくり

①地域と連携した教育の推進：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
学校支援コーディネーターの活用、職業体験	B	子ども110番の旗の家の更新・旗交換、町内各種施設での職業体験の実施	(中2) 職業体験受け入れ先の拡大、学校支援コーディネーターを活用した地域連携	学校運営協議会の設置、地域の人的リソースの発掘と活用

②PTA活動の活性化：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
親学習会開催、教育講演会開催	B	参加者の家庭教育への支援に取り組めた。	参加者の拡大、内容の検討。	内容精選した上での取り組み。

③家庭や地域の教育力の向上：社会教育課・指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
親学習会、三世代交流促進講座開催	B	学校との連携による家庭教育支援の取り組みの促進及び地域での三世代交流の促進が図れた。	参加者の拡大、内容の検討。	内容精選した上での取り組み。
中学2年生に親学習の実施	B	親学習リーダーによる取り組みが定着	家庭による教育力の格差をどう埋めるか	社会教育と連携した取り組みの周知・拡大に努める

5. 生涯学習

(1) 生涯学習の推進

①生涯学習推進体制づくり：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
田尻町生涯学習推進計画策定済み	B	生涯学習推進の意義や課題、行動方針を明らかにした。	社会の変化に対応する必要性。	内容を精査したうえで次期に反映。
家庭教育、学校教育、生涯学習の各分野ごとの教育施策と、健康福祉、産業振興、まちづくりなど各分野の取り組みを生涯学習の対象として結びつけるメニューの構築。	B	家庭教育、学校教育、生涯学習の各分野ごとの教育施策と、健康福祉、産業振興、まちづくりなど各分野の取り組みを生涯学習の対象として結びつける出前講座を整備。	需要がなく、PR不足。土日の開催も必要。	メニューの再構築、各題材の再検討。

②生涯学習関連情報の発信・共有：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
HP、FacebookなどSNSを活用した情報発信を実施。	B	HP、FacebookなどSNSを活用した情報発信を実施した。	HP、Facebook自体の閲覧が少ない	どのような情報発信が有効かを検討して取り組む。

③相談機能の充実：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
講座実施時にアンケートを行い学習ニーズの把握に努めている。	B	利用者ニーズに基づいた講座の実施が行えた。	より幅広い学習ニーズの把握	内容精選した上での取り組み。

④講座・教室・講演等の充実：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
親子ピザ作り、キッズ向け英会話、メンズクッキング講座等の実施	B	親子・児童・男性向けの料理・語学講座など多彩な講座を展開できた。	より多彩な年齢層による参加者の拡大、内容の検討。	内容精選した上での取り組み。
公民館まつり共催、三世代交流促進講座（郷土料理講座）、しめ縄作り講座等の実施	B	芸術文化促進、世代間の交流に資する伝統文化の継承等の充実した事業を展開できた	より多彩な年齢層による参加者の拡大、内容の検討。	内容精選した上での取り組み。

⑤まちづくりとの連携強化：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
防災の取り組みについての出前講座実施（H29）	B	地域における防災の取り組み意識向上に努めることができた。	学習メニューの充実及び町内各種団体への参加の呼びかけ・周	内容精選した上での取り組み。

			知も行うよう努める。	
--	--	--	------------	--

⑥人材の発掘・育成：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
親学習リーダーの登録及び研修、近隣公民館との講師に関する情報交換など	B	近隣公民館との情報共有などを図り、人材を発掘することができた。	人材の発掘・育成の仕組み作りの構築	内容精選した上での取り組み。

⑦主体的取り組みの促進：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
語学講座開催後の受講生による語学サークルを自主運営し活動している。	B	講座受講生による自主的なサークル運営による学習意欲の向上・交流が図れた。	より多彩な年齢層による利用者の拡大、内容の検討。	内容精選した上での取り組み。
公民館まつり、文化協会展示・発表会など各種団体主催の催しを公民館で実施	B	各種団体の学習成果を発表する機会の充実が図れた。	より多彩な年齢層による利用者の拡大、内容の検討。	公共施設の積極的な有効活用とこれらの間の連携の促進。

⑧生涯学習施設の整備・充実：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
だれもが利用しやすい施設となるよう、利便性の向上に努めた。	B	学習活動の場として有効に活用されるよう、適切な維持・管理と設備の充実が図れた。	より多彩な年齢層による利用者の拡大、内容の検討。	公共施設の積極的な有効活用とこれらの間の連携の促進。

⑨図書サービスの充実：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
府立協力貸出による図書館間サービスの利用、学校図書司書との情報交換による図書購入など	B	住民が利用しやすい図書室の運営に寄与した。	より多彩な年齢層による利用者の拡大、内容の検討。	公共施設の積極的な有効活用とこれらの間の連携の促進。
田尻エンゼル、国際交流センターとの連携によるおはなし会の開催など	B	あらゆる世代の住民が親しみを持てるような図書室の運営に寄与した。	より多彩な年齢層による利用者の拡大、内容の検討。	公共施設の積極的な有効活用とこれらの間の連携の促進。

(2) スポーツ・レクリエーション

①生涯スポーツ活動の推進：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
生涯スポーツを推進するため、下記の事業を行っている。 ・スポーツ推進委員活動	B	身近に楽しめる生涯スポーツの普及を図った。	ニーズの多様性。	内容精選した上での取り組み。

事業、スポーツ教室（ニュー スポーツ等）				
-------------------------	--	--	--	--

②団体・サークル活動の育成・活性化：社会教育課：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
社会体育団体の育成、活動促進等	B	活動支援を行い、団体と協力して社会体育の促進を図った。	活動する人材の高齢化や減少。	ニーズに応じた柔軟な対応。
中学生野球活動奨励事業を H25～H29 においてクラブ同好会的措置で放課後等におけるスポーツ振興の支援を実施。	B	中学校公式試合への出場をはじめ、スポーツへの参画を促すことができた。	中学生の多様なスポーツ振興を図るうえで各種目の必要人数の確保が困難。	学校内だけの取組から地域と関わる事業手法を検討する。

③指導者の育成・確保：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
泉南地区研修会、府研修会、近畿研修会、全国研修会	B	資質の向上、相互交流に努めた。	指導後継者の育成。	人材の発掘。

④体育施設の充実と有効活用：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
多目的グラウンド及び町営プールの管理運営の効率化と柔軟性のあるスポーツ施策展開を図るために指定管理者による管理運営を平成 19 年度より行った。（町営プールは第 2 期（H24）より）	B	スポーツ活動の拠点として、各種団体の活動及びスポーツ教室等の運営実施を図った。	施設の機能維持、充実。	施設の計画的改修と安全な施設利用

⑤健康レクリエーションの環境づくり：社会教育課・都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
生涯スポーツを推進するため、下記の事業を行っている。 ・スポーツ推進委員活動事業、 ・生涯スポーツ事業（健康ハイキング）	B	レクリエーション連盟と指導員が協力して主体的に活動推進を図った。	幅広い世代間の参加。	周知案内の工夫。
既存広場への健康遊具の設置及びりんくうポート北広場整備においては、健康で楽しむウォーキングコースとして活用を図るためウォーキングルート案内板や地域の観光情報などを明示した案内板を設置するよう基本計画し、平成 31 年度に整備を行う。	—	交流広場への健康遊具の設置	—	—

6. 歴史・文化

(1) 文化財の保存と継承

①啓発活動の推進：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
町史編纂に係る資料の収集・整理・保存を継続し、広報誌を通じて成果の普及を図っている。	B	本町の歴史に係る史料が継続して収集され、保存されている。	家屋の建替え、世代の交代など、史料継承の危機がある。	史料発掘を継続。
広報紙を通じての地域の伝統、祭りなどの情報発信。	B	広報紙を通じての地域の伝統、祭りなどの情報発信。	観光部局との連携	観光行政との連携を検討。

②保存・継承活動の促進：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
地域が主体となって取り組まれている。	B	地域が主体となり参加促進が図られた。	継続できなくなった場合に行政のチカラが必要	観光行政との連携を検討。

③文化財の保存と公開：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
指定文化財である田尻歴史館の保全と来館者の安全確保を図るため、耐震補強等に着手した。	B	耐震診断及び耐震補強等保存修理工事実施設計を実施。	今後の有効活用。	次期修理工事計画を盛込む。

(2) 文化・芸術活動

①文化・芸術に触れる機会の充実：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
公民館祭り・ハートフルコンサート・文化協会発表会など地域が主体となって取り組まれている。	B	文化発表の場として定着。	各行事の重複感がある。	内容を精査したうえで次期に反映。
公民館では公民館祭り・ハートフルコンサート・文化協会発表会など地域が主体となって取り組まれている。	B	効率的に利用されているものの重複感がある。	各施設でのすみ分けが必要。	内容を精査したうえで次期に反映。

②文化活動への支援の強化：社会教育課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
公民館では公民館祭り・ハートフルコンサート・文化協会発表会など地域が主体となって取り組まれている。	B	効率的に利用されている	指導者の育成・確保、活動団体相互の交流の場が不足している。	指導者の育成・確保、活動団体相互の交流の場、発表の場の提供などに努める。

Ⅱ－２ 健やかで、安心して暮らせるまち 田尻

１．健康づくり

(１) 生涯にわたる元気づくり

①推進体制の強化：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
健康たじり保健計画（健康増進事業計画、母子保健計画、食育推進計画）の策定、データヘルス計画の策定	A	○住民と共同で町の健康課題に基づいた健康づくりを推進した。○住民課と連携し、医療費分析等を行い、そのデータに基づく計画を立案した。	○多様化する保健事業を受け、どのように保健事業を展開していけば、効率的に事業展開ができるのか検討する必要がある。	○健康たじり保健計画については、H31に中間評価実施、課題を明確にし計画後期に生かしていく。 ○データヘルス計画については、住民課と連携し、計画に基づいた保健事業を展開する。

②健康診査・保健指導等の充実：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
健康増進事業（健康手帳の交付、健康教育、健康相談、健康診査等）	A	○健康増進事業と栄養改善事業と共同で、生活習慣病予防に向けた健診や健康教育を実施。 ○健康診査について、住民の利便性を考慮しH29より集団健診を委託し、1日で特定健診及びがん検診を受診できる体制を確保した。	○検診受診率が低迷しているので、今後、どのように新規受診者を増加させていくか、継続受診者を確保するかが課題である。	○今後も、健康増進事業と栄養改善事業と合わせて保健事業を展開し、自らの健康の維持増進に向けた意識啓発を始め、住民主体の健康づくり活動をサポートする。

③母子保健の充実：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
○妊婦訪問、新生児訪問、2ヶ月児訪問等の訪問事業 ○乳幼児健診の実施 ○妊婦健診、産婦健診、乳児一般健診、後期健診、新生児聴覚検査 ○妊娠・出産包括支援事業として切れ目ない支援の実施 産後ケア事業、産後ケア訪問、産後交流会 ○親子教室、妊婦教室、多胎児教室等の教室開催 ○心理相談、療育相談、育児相談等の相談事業 ○総合的不妊不育治療助成事	A	○産前・産後から子育て期まで切れ目ない支援の実施をおこない、必要に応じた支援事業につないだ。 ○健診事業を継続しておこなうことにより、異常の早期発見・早期対応を実施した	○新規事業の評価をおこない、本来必要な人に必要な支援につなげていく ○妊婦教室参加者が少なく、妊娠期からの支援を充実させていく必要がある。	○各事業の実施・評価を継続しておこない、安心して子育てできる環境づくりに努めていく。 ○関係機関との連携をおこない、切れ目ない支援を実施する。また、異常の早期発見や早期支援につなげていく。

業 (下線は新規)				
--------------	--	--	--	--

④食育の推進：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
○H27、28、29 食生活改善推進協議会と共に、子どもから高齢者への食育普及啓発事業を実施。 (食生活改善推進協議会活動のための勉強会、地域での食育推進活動への支援、助言) ＊食生活改善推進協議会は H29 年度末に解散したため、H30 年度は 食育推進ボランティアの立ち上げ)	B	食生活改善状況の数値的な把握はできていないが、健康課とい生活習慣・食習慣の啓発と高血圧予防に取り組み、各種保健事業(妊娠期～成人)において減塩や望ましい生活習慣の普及啓発を継続的にできた。	食生活改善推進協議会が平成 29 年度末に解散した。今後、地域で住民が主体的に食育を継続して推進していくための活動支援。	食育推進ボランティアと共に、子どもから高齢者までのライフステージに応じた食育を推進。 (望ましい生活習慣及び食習慣の定着、地元の食材のを使った健康的な食事の啓発、健康課題(高血圧)の改善につながる食生活等の普及啓発)

⑤感染症対策の推進：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
定期予防接種事業、任意予防接種事業、新型インフルエンザ等新たな感染症に対する対策等	A	○医師会や 3 市 3 町と連携し、予防接種を 3 市 3 町のかかりつけ医で接種できるような体制を整えた。 ○「新型インフルエンザ行動計画」を策定した。	○新型インフルエンザ行動計画が策定されたが、実際に感染が行った場合、医療・保健の分野だけで対応できないことが予測されるため、危機管理をはじめとする他課との連携を必要とする。 ○どのような形で発生するか予測できないため、柔軟な対応をできる体制を確保する必要がある。	○3 市 3 町での予防接種が、円滑に実施できるように、医師会や近隣市町村と連携し、協議していく必要がある。 ○国の動向等を把握し、的接種及び任意接種共に啓発を幅広く実施し、疾病の発生予防に努める。 ○町として、緊急時に備え日頃から他課との連携を行う。

⑥心の健康づくりの推進：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
健康たじり保健計画における心の健康づくりの推進	A	○啓発事業、相談支援体制に充実に取り組んできた。 ○啓発事業としては、一人一人が心の健康づくりを意識す	○町の心の健康づくりの特徴等の傾向が見えにくい。	○H30 に策定する「自殺予防計画」を企画人権をはじめとした、他課と連携

		ることが自殺対策につながることを啓発した。		しながら推進する。
--	--	-----------------------	--	-----------

⑦生涯にわたる元気づくり活動の促進：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
循環器疾患予防プロジェクトの実施、多世代交流イベントの開催等	A	○循環器疾患予防プロジェクトを実施。 町の健康課題の原因を追究。 ○健康づくりに無関心な方への啓発として、たじりっち体操の作成・普及啓発を実施、たじり健康フェスタの開催。	○健康に対する無関心層への保健事業の展開を考える。	○町の健康課題の原因に応じた保健事業を展開し4、町民が関心を持てる事業を展開し、住民一人一人が健康で生きがいを持ち、安心して生活できる街づくりを目指す。

(2) 地域医療

①初期医療（プライマリ・ケア）の充実 健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
医師会や3市3町との連携	A	医師会等の地域医療機関の充実により、地域住民が安心して医療受診できるように医師会等連携を実施。	町内に小児科の医療機関がない。また、近隣の市町村にもかかりつけ医の小児科が少ない。	引き続き、地域医療の充実を図る。

②患者本位の医療の確立：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
医療ニーズの高度化・多様化に対応するため、地域の医療機関との連携	A	安心して医療を受けられるような体制を整備。	—	引き続き、地域医療の充実を図る。

③医療体制の充実：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
構成市町等における分担金等の負担	A	予定どおり実施できた	特になし	継続的に取り組む
構成市町における分担金等の負担	A	予定どおり実施できた	特になし	継続的に取り組む

④保健・医療の連携強化：健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
3市3町における分担金等の負担	A	予定どおり実施できた	特になし	継続的に取り組む

2. 地域・社会の支えあい

(1) 地域コミュニティ

①住民相互の交流の促進：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
各種団体の行事等の広報への掲載 地区連合会活動報償金の支出 公民館まつりの開催 たじり健康フェスタの開催 還暦のつどいの開催	B	各種行事への町民の参加	各種団体の高齢化 地区会加入率の低下	継続

②コミュニティ意識の醸成：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
各種団体の行事等の広報への掲載 地区連合会活動報償金の支出	B	地区会への新規加入	各種団体の高齢化 地区会加入率の低下	継続

③コミュニティ活動の促進・支援：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
各種団体の行事等の広報への掲載 地区連合会活動報償金の支出	B	各種団体による各種事業の実施	各種団体の高齢化 地区会加入率の低下	継続

④共通の場の形成：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
現状できていない	C	—	—	継続

⑤コミュニティ活動を支える人材育成と活動拠点の充実：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
集会所管理業務委託（田尻町社会福祉協議会） 集会所使用実績 H27 嘉祥寺 200 日、吉見 124 日 H28 嘉祥寺 189 日、吉見 128 日 H29 嘉祥寺 191 日、吉見 160 日 ふれ愛センター一般開放（土日）	B	集会所、ふれ愛センターの利用が一定数ある	コミュニティ活動に率先して取り組むリーダーの発掘・育成	継続

(2) 地域福祉

①人と人とのつながりづくり：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
ふれ愛センターを土曜日、日曜日開放し、フリースペースで集える場所を提供	A	フリースペースに土日平均 35 名の利用あり	フリースペースの拡充	—
民生委員、地区福祉委員の協力により災害時要支援者避難行動の個別計画を作成、災害時に住民同士が要支援者の見守りを行う。	B	計画策定に同意を得た要支援者 78 名 個別計画作成 53 名	要支援者の基準に該当しない支援の必要な方への対応。	—

②福祉活動の推進と担い手づくり：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
・ボランティア活動の支援やコミュニティサロン「チョボラッタ」の運営 ・介護支援サポーターの養成講座の実施。社会福祉協議会、地域包括支援センター等の活動のサポート	A	・ボランティア連絡会への活動助成 ・サポーター登録数 平成 27 年度 21 名 平成 28 年度 25 名 平成 29 年度 33 名	・活動の場が少ない。 ・新規サポーターの発掘	・活動の場の拡充 ・サポーター制度の周知

③各種サービス・相談支援を受けやすい仕組みづくり：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
複数の課題を抱える対応困難な事案等について必要な支援ができるよう C S W を配置	A	相談件数 月 20 件～30 件 相談内容により各関係機関と連携している。	地域共生社会に向け、高齢、障害における相談窓口の一元化の実施	地域包括支援センターに障害者総合相談事業を追加
複数の課題を抱える対応困難な事案等について必要な支援ができるよう C S W を配置	A	相談件数月 20 件～30 件 相談内容により各関係機関と連携している。	サービスが必要とする方の掘り起しをどうするか。	—
民生児童委員やハートホット等と連携している。	A	民生児童委員やハートホットと定期的に情報交換を行っている。	—	—

(3) 社会保障

①低所得者への適切な対応：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
生活に困っている方の相談を受け、実施機関である岸和田子ども家庭センターや大阪府社会福祉協議会などと連携している。	A	岸和田子ども家庭センターや大阪府社会福祉協議会などと遅滞なく連携できている	生活に困っている方の実態把握が困難である。	引き続き生活保護等の制度の適正な運用に努め、岸和田子ども家庭センターや大阪府社会福祉協議会などと連携を密にする。

②国民健康保険事業の健全化：住民課・健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
<国民健康保険料> ・督促状等発送、電話勧奨、 自宅訪問 H29 収納率 現年 94.49% 滞納繰越分 20.65%	—	昨年同期と比較し、 収納率は向上している。	滞納繰越対象者 への催告回数が 少ない。	左記、課題の改善に加え自宅訪問を増加し、収納率向上に取り組む。
<1. 健康づくり (1) 生涯にわたる元気づくり①推進体制の強化のデータヘルス計画と同内容>	—	<同>	<同>	<同>

③後期高齢者医療制度の適正な運営：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
大阪府後期高齢者医療広域連合と連携している。	A	関係機関とも適切に連携している。	—	—

④国民年金制度の啓発：住民課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
毎月の年金に関する情報の広報たじりへの掲載。	B	適切な対応に努めた。	特になし。	現状維持。

3. 高齢社会・障害福祉

(1) 高齢社会への対応

①健康づくりと介護予防の推進：福祉課・健康課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
筋トレ教室や、町内での体操教室の実施	A	各教室への参加 11 人/回 町内体操 27 人/回 参加者で支援が必要な方を早期に発見し対応している。	町内で体操を実施できる場所がない。	—
介護予防は福祉課に移った	—	介護予防は福祉課に移った	介護予防は福祉課に移った	—

②生きがいづくりと社会参加の支援：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
老人福祉センターで講座の実施や自主サークル活動の支援、福祉風呂の実施。 金婚式の実施 長寿祝金の支給 三世代お祝い事業の実施	A	H29 年度 講座、自主サークル 参加者数 58 人/月 福祉風呂 93 人/日 三世代 11 件	—	—
シルバー人材センターの実施	A	会員数 74 名 受注件数 345 件/年	・シルバー人材の登録者の高齢化 ・人材の発掘	—

③介護保険サービスの円滑な提供：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
自立支援型のケアプラン作成研修の実施 地域ケア会議の開催	A	ケアマネ向け研修 年 1 回 地域ケア会議 2 ヶ月に 1 回	—	—
(介護保険利用負担対策) 低所得者が介護サービスを利用できるように社会福祉法人が法人減免した際に事業所を補助。	A	・介護保険利用負担対策事業 0 件 ・介護ロボット導入件数 平成 28 年度 1 件	・介護保険利用負担対策事業が対象となる人がいない。 ・介護ロボット導入助成事業は府の事業に変更	制度の周知

④在宅生活の支援：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
今年から多職種連携会議「たじりっちなえと」を立ち上げ連携を図っている。	A	多職種連携会議を年 4 回実施	—	—
(家族介護用品) 在宅で生活する要介護 3 以上の非課税世帯に介護用品支給券を配布	A	家族介護用品申請件数：平成 27 年度 9 人、平成 28 年度 13 人、平成 29 年度 13 人	年度途中で対象者となった住民への周知方法	制度の周知

⑤相談支援体制の充実：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
地域の集会所で体操教室を実施。 地域包括やCSWも随時参加しより身近な場所で相談可能な体制を構築	B	りんくう、吉見、ふれ愛センターで1週間に1回それぞれ実施	—	—
要支援者を取り巻く環境を的確に把握し必要なサービスの提供を行う。	A	地域包括が要支援者の状況を把握している。	支援が必要な人の掘り起し	—

⑥高齢者の権利擁護：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
身寄りのない高齢者に寄り添ったきめ細やかな支援ができるように、市民後見人の養成や市民後見人の活動の支援を行う。	A	市民後見人登録者数 平成27年度 1名 平成28年度 1名 平成29年度 2名	市民後見人のなり手がいないこと	市民後見人制度の周知、後見制度の啓発

⑦地域における見守りネットワークづくり福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
介護者家族の会の実施 認知症カフェの実施 WAOたじりの開催 地域包括ケア会議の開催	A	介護者家族の会1回/月 認知症カフェ1回/月 WAOたじり1回/年 地域包括ケア会議3回/年	—	—

⑧安心・快適に暮らせる環境づくり：福祉課・危機管理課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
(GPS利用助成事業) 徘徊の恐れのある高齢者が安心して地域で暮らせるようにGPS機器の購入費用を助成する。	B	(GPS利用助成事業) 申請件数 0件	GPS機器利用者がいないこと。	高齢者がGPS利用につながるように、事業内容を見直す。
<災害時要支援者は4. 安全・安心(1)防災・消防・救急③地域ぐるみの防災・防火体制の確立と同内容>	—	<同>	<同>	<同>

(2) 障害福祉

①啓発・交流の促進：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
泉佐野市と共同で設置している自立支援協議会や地域活動支援センターにおいて、住民向け研修会を開催するなどの啓発に努めている。また学校	A	各種研修会の開催や体験教室等の実施により多種多様な障害への理解・啓発に努めることができた。	自立支援協議会の運営体制の変更を泉佐野市が検討していることに伴い、本町	共同実施部分、単独実施部分共に、現状どおり啓発に努めている。

園においても車椅子体験等を実施するなどし、福祉教育の推進を図っている。			において、より有用な方法を検討する必要がある。	
-------------------------------------	--	--	-------------------------	--

②保健・医療の充実：福祉課・こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
健診や健康教育、保健指導等を行うことにより、予防や早期発見に努めており、自立支援医療制度により、障害のある人の心身の健康の維持・回復を図れている。また、各種福祉・保健・医療機関と連携することによりリハビリテーション体制等の充実に努めている。	A	健診や保健指導等により、障害の早期発見等につなげることができた。自立支援医療制度により、心身の状態の維持・回復に寄与できた。	—	現状どおり、予防・早期発見等に努めていく。
軽難聴児に対する補聴器購入費用の助成を実施（H28年度実績1件）	A	軽難聴児への早期療育・早期治療を支援し、補聴器購入費に係る経済的負担の軽減を図ることができた。	利用申請が少なく、事業の周知が不十分の可能性はある。	・事業の啓発及び利用の促進。

③生活支援の充実：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
庁内関係各課と共に連携のうえ、相談支援体制を構築している。さらに、泉佐野市と共同で基幹相談支援センターを設置することにより、より専門的な相談にも対応できるような体制を整備している。また、泉佐野市と連携し、自立支援協議会において、保健・医療・福祉に留まらず、労働・教育分野等幅広い分野と総合的に連携し、障害のある人に必要な支援体制の構築を図っている。	A	基幹相談支援センターを設置することにより、より専門的な相談にも対応できる体制ができた。また、自立支援協議会により、幅広い分野との連携の上、支援体制の構築が図れている。	泉佐野市が基幹相談支援センターの運営体制の変更を検討しているため、引き続き共同で実施できる部分は連携し、単独実施となる部分の検討を行わなければならない。	相談支援について、単独実施となる部分の維持・充実に努める必要がある。また、自立支援協議会については、実施方法等の検討が必要となる。
基幹相談支援センターの設置により、町内の相談支援体制の強化が図れている。とりわけ、出張相談を実施することにより、相談しやすい体制を作ることができている。また、自立支援協議会において、虐待の早期発見の取り組みの実施や、障害者差別に係る対応と啓発に取り組むなど、権利擁護の推進に取り組んでいる。	A	基幹相談支援センターを設置することにより、相談支援体制を充実することができた。また、自立支援協議会の専門部会により、相談支援事業所の研修によるケアマネジメントの推進や、虐待の早期発見や障害者差別への対応等、権利擁護の推進も図れた。	泉佐野市が基幹相談支援センターの運営体制の変更を検討しているため、引き続き共同で実施できる部分は連携し、単独実施となる部分の検討を行わなければならない。また自立支援協議会の運営も同様に検討する必要がある。	相談支援について、単独実施となる部分の維持・充実に努める必要がある。また、自立支援協議会については、実施方法等の検討が必要となる。

④療育・教育の充実：こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
障害児通所支援等事業を実施 障害児通所支援の利用について、障害児通所給付費等により、費用の支弁を行う。	A	通所給付決定や通所給付費等の助成により、障害のある子ども一人ひとりの障害の状況や特性等にあわせた療育支援を受けられるよう、環境づくりができた。	・町内には民間事業所が1所しかなく、障害を持つ児童の状況や特性等によっては、近隣の事業所を利用する児童もいる。	・町内の事業所開設の促進。
児童家庭相談の実施により、必要に応じて、児童発達支援事業の個別支援計画や障害児相談、健康課の保健師相談等と連携し実施した。	A	成長段階に応じた相談を実施できた。	進路相談が適切にできているか連携して検討する。	・連携の促進。

⑤雇用・就労の促進：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
泉州南就業・生活支援センターや就業移行事業所などと連携し、就労後の職場定着を支援している。また、就労継続支援事業等の利用や地域活動支援センターとの連携により就労の場や活動の場の確保を行っている。	B	障害福祉サービス利用により、一般就労できた方の実績を毎年挙げられている。また、就労定着へ向けた支援を実施することができている。	民間事業所での就労機会の拡大については、目立った取り組みは出来ていない。	概ね現状どおり推進すべきであるが、就労機会の拡大については担当課や関係機関との連携のうえ、検討すべきであると思われる。

⑥社会参加の促進：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
移動支援事業や重度の障害者等の方へのタクシーの利用料金の一部助成や、手話奉仕員の派遣などにより、外出やコミュニケーションへの支援を行っている。また、大阪府や近隣市町と開催しているスポーツ大会への参加促進を行っている。	B	移動支援等の提供により、障害のある人が外出やコミュニケーションへの支援が図れ、余暇等の社会参加を促進することができた。	手話奉仕員の派遣は行っているが、要約筆記については、奉仕員の養成が出来ておらず、派遣事業の実施に至っていない。	要約筆記が必要な方への支援方法を検討すべきと考える。その他は現状どおり推進すべきと考える。

⑦生活環境の充実：福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
環境整備については、公共施設においては、エレベータを設置するなどバリアフリー化を図っており、吉見ノ里駅のバリアフリー化については協議を行っているところ。また、要支援者名簿の作成により、避難に支援が必要な方の	A	役場庁舎や葬祭場においてもエレベータを設置を行った。また、要支援者名簿を作成したことで、避難時に支援が必要な方の支援体制を構	—	災害時の支援体制について、要支援者名簿の対象とならない方であって、支援が必要な方への個別支援計画の策定について進

個別支援計画の策定をすすめているところであり、また詐欺や消費者被害防止に向けての情報提供や、地区連合会等による町内パトロールなどに対する支援を行なうことで防災・防犯対策の支援体制づくりに努めている。		築することができた。		める必要があると考える。その他については、現状どおり推進すべきと考える。
---	--	------------	--	--------------------------------------

4. 安全・安心

(1) 防災・消防・救急

①総合的な防災体制の確立：危機管理課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
田尻町職員災害時業務マニュアルを策定した。自主防災会等と災害時の連携について協議している。	B	職員マニュアルに基づき災害対応自主防災会の防災訓練の参加	—	—
アルファ化米等の緊急物資を計画的に確保し、田尻町防災行政無線の更新（同報系、移動系）を行い、防災関連情報通信体制の充実に努めている。また、田尻町職員災害時業務マニュアルを策定した。	B	災害時において、緊急物資の配布を行った。また、災害時にマニュアルに基づき業務を行った。	—	—

②消防・救急体制の充実：危機管理課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
泉州南広域消防本部とは連携を密に取り合いながら、広域化による常備消防力の向上・充実に向けて協議を行っている。また、消防団については、消火活動以外の災害時の役割等について協議を行い、団員の意識改革に努めた。	B	消防広域化による初動体制の充実化や消火、救急などの消防力到着の迅速化が図れた。	—	—
泉州南広域消防本部と連携・協議のもと、計画的に救急体制の充実を推進した。また、公共施設に設置しているAEDの適切な運用・管理に努めた。	B	消防広域化による初動体制の充実化や消火、救急などの消防力到着の迅速化が図れた。	—	—

③地域ぐるみの防災・防火体制の確立：危機管理課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
広報に防災特集記事を掲載したり、防災に関する出前講座を行ったり、防災等の意識向上に努めた。	B	住民の防災意識向上につながった。	—	—
各自主防災組織と定期的に協議を行い、防災体制の充実、災害時の役割分担等の連携を行っている。	B	町と自主防災会と共催で防災訓練を実施した。	—	今後は田尻町の実情に応じた組織への改編を協議している。

④緊急時即応体制の整備：危機管理課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
国、府、近隣市町村や関西空港（関空連絡協議会）等と意見交換、情報共有等を行い、	B	災害時の対応の連携や各訓練の実施を行い、災害対応の推進を行った。	—	—

災害時の対応について推進している。				
-------------------	--	--	--	--

(2) 防犯・交通安全

①防犯意識の高揚と地域安全活動の促進：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
各種団体と連携し、青色防犯パトロールを実施。また、夏季や年末は重点期間として、青パトだけでなく自転車によるパトロールも実施。	B	平均して通常月 3 回/月重点期間は3日に2日のペースでのパトロール活動	通常月のパトロールが少ない	パトロールの強化

②防犯設備の整備：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
防犯灯：H27～H29でLED化 防犯カメラ：H27に10台、H29に6台増設	A	防犯カメラは近隣市町と比較してトップクラスの設置台数（人口当たり）	犯罪件数が減っていない	街頭防犯カメラはもう十分だと考える

③交通安全意識の高揚 都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
たじりエンゼルや小学校で交通安全教室や春、秋の前項交通安全運動に合わせて講習会等を行い啓発に努めている。	B	死亡事故0件	高齢化に伴い、高齢者が加害者、被害者となる交通事故が増加傾向にある。	啓発活動の継続

④交通安全施設の整備：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
交通安全施設を適切に維持管理するとともに、カーブミラーやカラー舗装等の路面標示の設置を行うなど、交通事故防止に努めている。	B	—	—	—

(3) 消費生活

①消費生活に関わる情報提供の充実：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
防犯大会、敬老会、成人式、町内全戸へ啓発物品の配布 情報発信（広報・HP）	B	消費者問題の未然防止に寄与	—	—

②消費生活相談の体制づくり：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向

相談業務の実施 大阪府消費生活センターと連携	B	消費者問題の未然防止、早期解決に寄与	相談件数の減少	—
---------------------------	---	--------------------	---------	---

5. 住宅・住環境

(1) 住宅・宅地

①住宅・宅地供給の誘導：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
田尻町開発指導要綱に基づき、良好な都市環境の形成を図るため、開発について一定の基準を定め指導し、計画的な「町づくり」を進めている。	B	分割した分譲により段階的に住宅開発が進むよう大阪府と協議を行った。	—	—
田尻町開発指導要綱に基づき、良好な都市環境の形成を図るため、開発について一定の基準を定め指導し、計画的な「町づくり」を進めている。	B	—	—	—

②住宅取得の促進：都市政策課・企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
随時、あらゆる住宅に関する相談の機会を設け、各種制度等の周知を図っている。また H28 年度より転入定住の促進制度を創設した。	B	転入定住促進助成制度 H28 1 件 H29 33 件 H30 33 件 (11/20 時点)	—	—
三世帯同居近居新生活スタート助成事業	A	H28 6 件 H29 17 件 H30 5 件 (10 月末時点)	効果検証方法	町総合戦略の効果検証結果に基づき今後の方向性を検討する。

③公営住宅の計画的な整備・充実：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H28 には砂山住宅の大規模改修を行うなど、計画的に長寿命化を図っている。また、計画的かつ効率的な管理運営を図るため、露ノ口第 2 次住宅からの住替え制度を発足させた。	A	—	露ノ口第 2 次住宅の用途廃止に向けた国、府との協議	継続し公営住宅の適正な維持管理に努め、多様な居住ニーズに応えられる住宅施策の充実を目指す。

(2) 良好な住環境づくり

①災害に強い住宅づくりの促進：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
『田尻町既存民間建築物耐震診断補助金交付規則』及び『田尻町木造住宅耐震皆朱補助金交付規則』に基づき、耐震診断・耐震改修を促進し、	A	【診断】1 件 (H29) 【改修】1 件 (H30)	—	次期計画では災害に強いまちづくりの項目に「空き家対策」も含めて計画さ

災害に強い住宅づくりを促進する。				れることとなる。
------------------	--	--	--	----------

②環境にやさしい住宅づくりの促進：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
啓発、周知に努めている。	—	—	—	—

③生活空間へのユニバーサルデザインの導入・バリアフリー化の推進 都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
都市政策課では、住宅のユニバーサルデザインの取り組みはない。（駅弘・公共交通バリアフリー化は動きがある）	—	—	—	—

④健康被害対策の推進：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
都市政策課で取り組みはない。	—	—	—	—

Ⅱ－３ 資源が活かされ、魅力あるまち 田尻

１．自然・環境保全

(１) 水と緑の環境づくり

①水辺の環境づくり：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
都市政策課では機能管理は行うが、水辺環境は行っていない。	—	—	—	—

②公害防止対策の充実：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
住民から苦情等があった場合は現場に赴き、調査や指導を行う	B	強制執行や訴訟等に至った事例はない	特になし	今後も継続して業務を行う

③不法投棄防止対策の強化：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
廃棄物の不法投棄の多い箇所に監視カメラを設置して抑止するとともに、不法投棄パトロールを定期的に実施	B	監視カメラにより一定の抑止効果はあるものの、カメラの無い場所での不法投棄が発生	監視カメラによる抑止はその場所限りであり、効果は限定的となる	今後も継続して業務を行う

④生態系の維持・回復：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
セアカゴケグモについて、定期的に広報による注意喚起を行っている	B	特定外来生物による大規模な被害は発生していない	特になし	今後も継続して業務を行う

⑤環境と調和した土地利用の誘導：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
田尻町開発指導要綱に基づき、良好な都市環境の形成を図るため、開発について一定の基準を定め指導し、計画的な「町づくり」を進めている。	B	—	—	—
民間開発については、田尻町開発指導要綱に基づき、良好な都市環境の形成を図るため、開発について一定の基準を定め指導し、計画的な「町づくり」を進めている。	B	—	—	—

⑥自然とふれあう機会の拡大：都市政策課・産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
平成29年度に住民ワークショップを行うことにより、りんくうポート北広場の計画や、田尻町ウォーキングコース（散策ルート）整備計画を行った。	B	—	—	—
農業委員の協力のもと、小学校・幼稚園の田植え・稲刈り体験を実施	B	子どもたちの農業への関心が深まった。	—	—

(2) 環境問題への取り組み

①環境問題への意識啓発：社会教育課・生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
広報紙やホームページ、学校教育や社会教育における環境学習、イベントなどを通じて、環境問題に対する住民や事業者の意識を高め、環境にやさしい暮らし方や事業活動の実践を促進。	B	広報紙やホームページ、学校教育や社会教育における環境学習、イベントなどを通じて、環境問題に対する住民や事業者の意識高揚が図られた。	—	左記内容を精査したうえで次期に反映。
田尻町地球温暖化対策実行計画の進捗状況を毎年広報紙やホームページに掲載	B	環境問題に対する住民や事業者の意識向上の一助となった	特になし	今後も継続して業務を行う

②地球環境保全対策の推進：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
H29.3に田尻町地球温暖化対策を改定	B	H24比で△3%の削減を達成	パリ協定に基づき中長期的には更なる削減が必要	今後も継続して業務を行う

③住民が主体となった取り組みの推進：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
地区会主催の美化運動時に配布するごみ袋の一部を助成	B	側溝からの悪臭等の苦情はほぼない	特になし	今後も継続して業務を行う

2. 都市整備

(1) 道路・交通体系

①道路体系の充実：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
現在「吉見ノ里駅前周辺整備事業」を進めており、その事業において駅周辺道路の改修を行う予定。本事業を実施することにより吉見ノ里駅の交通環境の改善を図る。	—	—	—	町内の道路整備は一旦完了

②人にやさしい道づくり：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
道路等の危険箇所については発見次第、応急処置後に修繕を行っている。また、防護柵等については景観に配慮した物を採用し、すべての人が利用しやすく快適な道づくりに努めている。	B	—	—	—
建築基準法に基づく建築確認申請書において、敷地後退等が図示されているか確認を実施している。また、前面道路幅員の確認について、地籍調査成果又は現地での確認を実施している。	A	—	—	—

③南海吉見ノ里駅の利便性向上：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
現在「吉見ノ里駅前周辺整備事業」を進めており、その事業において駅前にロータリーの設置、駅舎改修等を行い、駅利用者の送迎車両による停車車両の解消、駅前を住民コミュニティが図れる空間を創出する。	—	—	—	「吉見ノ里駅前周辺整備事業」は次期計画期間の前半で終了する行程。

④民間路線バスの充実：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
バス車両通行路線は現時点では、りんくうポート地区に限られるが、今後はコミュニティバスの運行も計画していることから、更に安全に通行できるように危険箇所等が無い点検を実施していく。	C	—	—	—

⑤移動困難者に対する移動手段の検討：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
泉佐野市と共同でコミュニティバスの運行を計画している。町内だけでなく泉佐野市内の施設へ無料で行くことができる。	C	—	—	—

(2) 市街地整備

①都市計画の推進：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
平成 29 年 3 月に『田尻町都市計画マスタープラン』及び『田尻町みどりの基本計画』を策定し、本町の地域特性を踏まえ、住民の意向を反映しながら、長期的な視野に立ち、周辺環境と調和した計画的な「まちづくり」を進めている。	—	—	—	—

②土地利用に関わる法制度の適切な運用：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
田尻町開発指導要綱に基づき、良好な都市環境の形成を図るため、開発について一定の基準を定め指導し、計画的な「町づくり」を進めている。	B	—	—	—

③都市基盤の整備：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
民間開発については、田尻町開発指導要綱に基づき、良好な都市環境の形成を図るため、開発について一定の基準を定め指導し、計画的な「町づくり」を進めている。	B	—	—	—

④市街化調整区域における環境保全：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
田尻町開発指導要綱に基づき、良好な都市環境の形成を図るため、開発について一定の基準を定め指導し、計画的な「町づくり」を進めている。	B	—	—	—

⑤災害に強いまちづくり：都市政策課・危機管理課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H26、27 に町内 7 カ所に緊急土のうステーションを設置し、大雨による冠水・浸水などを未然に防ぐことを目的として土のうステーションを設置した。	A	—	—	—
危機管理課：都市整備課が中心	—	—	—	—

⑥高齢者や障害のある人等にやさしいまちづくり：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
道路協議の際に歩車道境界ブロックの高さ等を基準に沿った計画とするよう業者に指導している。	—	—	—	—

⑦国土調査の推進：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
現地立会いでの成果を閲覧後、大阪府による承認をいただき法務局に登録する。	B	—	現地立会後の成果の登記が遅れていることから、早急に登記完了を目指す。	事業終了

(3) 景観形成と公園・緑化

①景観の保全と創造：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
平成 29 年 3 月に『田尻町みどりの基本計画』を策定し、本町の地域特性を踏まえ、住民の意向を反映しながら、長期的な視野に立ち、周辺環境と調和した計画的な「まちづくり」を進めている。	—	—	—	—

②屋外広告物の適正配置の促進：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
屋外広告物に関する申請・更新等の受付・許可事務について H29.10 より泉南市に委託（それまでは泉佐野市に委託）	A	専門的知識を持つ職員が対応することによりよりの確な指導等が行えた	特になし	今後も継続して業務を行う

③住民参加の景観づくり：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
---------	------	----	----	------------

産業振興課で花植えボランティア	—	—	—	—
-----------------	---	---	---	---

④空き地の適正管理：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
危険物・ごみ等の不法投棄などによる苦情等があった場合は、生活環境課とともに対策に当たっている。	A	—	—	—

⑤住民参画による公園づくり：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
りんくうポート北広場整備について、住民に親しまれる広場作りのため、住民ワークショップにより基本計画の策定を行った。	A	住民ワークショップによる広場づくり	広場整備後の活用方法に向けた調整（周辺施設、団体、庁内等）	—

⑥既存の公園・緑地の充実：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
老朽化している遊具の取替を行い、利用する方々が、安心、安全に利用できるようにした。	A	遊具の更新、健康遊具の設置	—	—
公園や児童遊園、駐輪場などに季節の花を植えている。住民団体が一部、花の管理をしている。	B	—	—	—

⑦緑化の推進：都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
公園や児童遊園、駐輪場などに季節の花を植えている。住民団体が一部、花の管理をしている。	B	—	—	—

3. 生活環境

(1) 上水道

①事業経営の安定化：上下水道課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
年次計画を立て、町道等に敷設された水道管更新工事、橋梁水管橋架設工事を実施。浄水場についても、老朽化する設備等の更新工事等を行い、経営の安定化を図った。	B	突発的トラブルによることなく、安定経営が行われている。	(H31.4.1より業務が企業団に移行するため、課題は企業団で検討することとなる。)	(H31.4.1より業務が企業団に移行するため、方向性は企業団で検討することとなる。)

②水の安定供給：上下水道課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
大阪広域水道企業団との経営統合に関し、 ①H28年4月府内6団体とともに「水道事業の統合に向けての検討・協議に関する覚書」を締結。検討・協議を開始。 ②統合素案に関する議案を町議会で審議。 ③H30年1月に統合案が首長会議において承認。統合案としてまとまる。 ④統合に関する議案を町議会で審議。 ⑤統合に関する議案を他団体で審議。 ⑥H30年7月「大阪広域水道企業団と田尻町の水道事業の統合に関する基本協定書」を締結。	A	田尻町水道事業は、H31.4.1に大阪広域水道企業団と経営統合。	(H31.4.1より業務が企業団に移行するため、課題は企業団で検討することとなる。)	(H31.4.1より業務が企業団に移行するため、方向性は企業団で検討することとなる。)

(2) 下水道

①下水道施設の整備と維持管理：上下水道課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
・吉見ポンプ場耐震対策工事を実施。 ・吉見ポンプ場について長寿命化計画を策定し、当該計画に基づく設備等の長寿命化対策工事を実施。 ・水洗化促進について職員による戸別訪問等を行った。	B	・吉見ポンプ場の建築部について、耐震化が完了した。 ・吉見ポンプ場について長寿命化計画に基づき対策工事を実施した。 ・職員により水洗化促進啓発のための個別訪問を実施した。	設備等が老朽化しているなか現長寿命化計画が平成32年度までの期間であるため、今後、新たにストックマネジメント計画を策定し、引き続き経費の平準化と適正な維持管理を実施していく必要がある。	ストックマネジメント計画を策定し、計画に基づく下水道施設の適正な維持管理及び改築・更新を実施していく。

②事業の健全経営：上下水道課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
・吉見ポンプ場の改築・更新について長寿命化計画を策定し、経費の平準化及びコストの削減を図った。 ・料金改定については平成 21 年度に平均改定率 15%料金改定を実施（20 m³ 1,750 円）。平成 26 年度に消費税率改定に伴う料金改定を実施（20 m³ 1,800 円）	B	・吉見ポンプ場について長寿命化計画に基づき対策工事を実施した。	設備等が老朽化しているなか現長寿命化計画が平成 32 年度までの期間であるため、今後、新たにストックマネジメント計画を策定し、引き続き経費の平準化とコストの削減を図っていく必要がある。経営の健全化に向けて、経営戦略の策定・地方公営企業法の適用が求められている。	ストックマネジメント計画を策定し、計画に基づき経費の平準化及びコストの削減に努める。 H32 年度に 10 年を計画期間となる経営戦略を策定する。法適に関しては、3 万人未満の自治体に対する新たなロードマップが本年度に示される予定なので、可能な限り早期に適用できるよう取り組みを進める。

（3）廃棄物処理

①ごみの減量化と資源化、環境美化の推進：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
H22 よりごみを有料化するとともに、廃プラスチックの分別回収を実施し、ごみの減量化の啓発を行った。また、小学校でパッカー車等による環境学習、不法投棄パトロール等の実施	A	ごみの減量化に繋がった。（H22 有料化、H24 減少）	リサイクル率の向上、収集運搬体制の整備	今後も継続して業務を行う
生ごみ処理機の購入者や各種団体による資源ごみの集団回収に補助金を交付	A	住民の自主的なごみ減量施策を支援することで、ごみの減量化と再資源化が図られた。	リサイクル率の向上、各種補助事業の再考	今後も継続して業務を行う

②ごみ処理体制の充実：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
H27 現ごみ処理施設の長寿命化計画、H28 次期ごみ処理施設の立地アセス検討等を行い候補地を選定した。熊取町も含めて広域化し、H42 年に新炉稼動に向けて協議中	A	新たなごみ焼却場の建設に向けた具体的なスケジュールが出来た。	熊取町を含む広域化に伴い、組合のあり方や負担割合の協議など	今後も継続して業務を行う

③し尿の適正処理：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
処理場の広域化に向けた協議及び本町の収集体制の再構築を実施	A	既存事業者の廃業に伴い、新たなし尿収集運搬事業者を選定した。	継続的にし尿収集運搬を実施できる体制の構築	今後も継続して業務を行う

④産業廃棄物の適正処理：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
大阪府所管業務であり、広報啓発に協力した。	—	—	大阪府所管業務であるため、田尻町の総合計画の項目とする事はそぐわない。	記載削除

(4) 墓地の管理運営

：生活環境課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H27 に吉見墓地を拡充（約 400 区画分）	A	実績に同じ	特になし	今後も継続して業務を行う

4. 情報・通信

(1) 地域情報化の推進

①情報教育の充実：指導課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
I C T環境を活用した授業づくり、校務の効率化	B	I C Tを活用した視覚支援のある授業が通常になってきた	利用していく中で改善の余地が見つかってきている。学校と教委の連携でより良い環境構築が必要	機器の増加、活用の一層の促進、プログラミング教育の実施

②個人情報の保護と情報犯罪の防止：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
基幹系システム、庁内ネットワークシステム、インターネット端末におけるセキュリティ強化を実施した〔H28.29〕。	A	端末ログイン時の二要素認証の導入、情報持出制限等の実施など、セキュリティの強化を図ることができた。	継続的にセキュリティの向上を図っていく必要がある。	引続き、セキュリティの向上を図り、個人情報の保護及び情報犯罪の防止に取り組む。

③情報通信基盤の整備促進：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
—	—	—	—	—

(2) 行政情報化の推進

①ホームページによる情報発信の充実：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H22年度に「いくくるウェブ(ASP型CMS)」の導入	B	担当者がそれぞれのPC端末からホームページの作成、更新が行えるようになった。	多言語化およびアクセシビリティへの対応	より見やすい、見てもらえるホームページの作成

②電子自治体の構築：総務課・こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
eLTAXを利用した町民税の電子申告、マイナポータルを利用した子ども子育て関係の申請等の整備を図り、住民サービスの向上を図った。	B	町民税の申告件数の半数以上は、オンライン申告によっておこなわれるなど、住民サービスの向上を図ることができた。	オンライン化された事務は、まだ少ない。	更なる各種手続き等のオンライン化の充実を図る。
基幹系システムを利用した事務の情報化の充実を図った。また基幹系システムについて	B	共同利用型クラウドシステムの利用により、事務の効率化や	より一層の情報システムの充実	引続き情報化の推進を図る。

は、平成 27 年度より共同利用 型自治体クラウドによる基幹 系業務システムにて運用を行 うことができた。		保有する情報の安全 性の確保等を図るこ とができた。	を図る必要があ る。	
子育てワンストップサービス 事業 H29～	—	—	—	—

5. 産業振興

(1) 農漁業と観光・交流

①漁業の振興：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H30.11 わかめ養殖業 H31.1 かき養殖業 を追加	B	—	—	—
漁業経営の近代化・多様化、漁業後継者の育成等は実績なし	C	—	—	—

②観光漁業の推進：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
インバウンド対応観光漁業（漁業振興補助金） H29 漁家レストランを設置（農水省農山漁村振興交付金）	B	—	—	—

③交流ゾーンの整備：産業振興課・都市政策課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
H29 漁業振興広場トイレの洋式化、中規模修繕を実施（府観光補助金を利用） H30 Osaka Free Wi-Fi 設置工事（府補助金を利用）	B	交流施設の整備・充実に寄与	—	—
府営りんくう公園、田尻スカイブリッジについて、府関係課等と調整、協議を開始している。 また、りんくうポート北広場の整備において周囲と連携した利活用によるにぎわい作りを推進していく。	B	—	具体的な施策展開に向けた府との調整	交流ゾーンのにぎわい作りに向け、府等の関係機関との調整

④都市型農業の振興：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
泉州黄たまねぎ祭りでの販売。 H29 吉見早生採種用のビニールハウスを設置。	B	吉見早生の安定供給への足掛かりとなった。	吉見早生の販路の拡大	吉見早生の知名度の更なる拡大を目指す。 ふるさと納税の返礼品に活用
・地産地消を促進するため、町内産米を米粉パンに加工し、給食にて提供 ・町内の遊休農地を借り、米を栽培。 収穫後は学校給食に利用。	B	児童の食育に寄与	—	—

⑤農地の有効活用と担い手の育成：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
経営所得安定対策事業（農水省）の受給支援を行う。	B	—	—	—

⑥観光情報・地域情報の発信：産業振興課・企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
田尻漁業協同組合主宰イベント等も積極的に町HPに掲載	B	—	—	—
・観光マップB ホテルを含めた町内主要施設に設置 ・案内標識C	C	—	多言語化	—
マスコミへの各種行事等の報道提供 facebook、たじりっちメールを利用した情報発信田尻町マスコットキャラクター「たじりっち」を活用した町のPR	B	田尻漁港日曜朝市など、観光客誘客に繋がっている	日曜朝市以外の観光資源やイベントの認知度が低い。	継続さらなる情報発信に努める。

⑦観光振興体制の整備：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
泉州観光DMOへの参画H29	B	広域連携による観光振興を図ることが可能となった。	—	—
観光ボランティアガイドの育成など「観光まちづくり」をみんなで支える仕組みづくりの取り組み実績なし	D	—	—	—

(2) 商工業の振興と雇用・就業

①指導・支援体制の充実：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
地域産業の高度化と経営基盤の強化、後継者の育成の取り組み実績なし。	D	—	後継者支援制度の構築・啓発	—
田尻町利子補給制度	A	—	—	—

②地域商業の活性化：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
—	B	—	—	—

③企業誘致の推進：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
田尻町企業誘致促進制度	A	未利用地なし（売却済）	空き地なし	—
H29.H30 相談なし	D	なし	空き地なし	—

④雇用機会の確保と就労の促進：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
就労支援講座の実施 H27H28H29 合同就職面接会の共催 H27H28H29H30	B	新規雇用・転職に結びつくケースあり	参加者等の減少	—
啓発活動（HP 等）	C	—	—	—

⑤起業の支援：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
—	D	—	起業支援制度の構築・啓発	—

⑥勤労者福祉の充実：産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
啓発活動（HP 等）	C	—	—	—

Ⅱ－４ みんなでまちづくりを進めるために

１．参画と協働のまちづくり

（１）広報・公聴・情報公開

①広報の充実：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
広報たじりの発行（毎月）、ホームページの運営 Facebookの運営、たじりっちメールの運営 田尻町マスコットキャラクター「たじりっち」を活用した町のPR	B	広報たじりの一部カラー化、SNS等を利用することにより一層住民に対し情報の周知が可能となった。	広報たじり、ホームページ等を住民に見てもらうこと。	継続 行政からの一方的な情報発信にならないように工夫する。

②公聴の充実：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
弁護士相談や人権相談など各種相談の実施 → 相談体制に 町長と住民による町政懇談会の実施 各種計画等作成時におけるアンケート調査及びパブリックコメントの実施 ワークショップの実施	B	住民の声を反映した計画の策定	住民の声が完全に反映されているわけではない	継続 さらなる住民の声の反映に努める。

③積極的な情報公開と適切な個人情報の保護：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
町政の諸活動を町民に説明する責務を果たすとともに、町政へのより一層の町民参加を促進するため、情報公開制度の積極的な運用を行っている。	B	情報公開処理件数 H26 3件 H27 4件 H28 4件 H29 7件	個人情報保護に十分留意しながら、積極的な情報公開を図る必要がある。	情報公開制度に基づく行政情報の公開を行っていく。
パブリックコメント等を活用し、積極的な行政情報の提供を行っている。	B	パブリックコメント実施件数 H26 5件 H27 2件 H28 3件 H29 2件	一層の行政情報の提供を行う必要がある。	一層の行政情報の提供を行う。

（２）住民活動の振興

①住民活動・ボランティア活動の活性化：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
地区連合会報償の支出 田尻町国際クラブへの補助金の支出 広報たじりへの各種団体等の記事掲載	B	地区会主催のイベントや国際クラブ主催のイベントへ住民の参加があり	自主的な公益活動を行う団体が少ない	継続 現在ある団体の他に新たな団体の発掘と、より一層の支援。

②ボランティア活動の支援：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
各種団体等のイベント等を広報たじりにて周知	C	広報紙での周知はできている	体験や講座、研修会の開催 自発的な参加	継続

③住民活動団体・ボランティアのネットワーク強化 企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
各種団体等のイベント等を広報たじりにて周知	C	広報紙での周知はできている	各種団体の高齢化 ネットワーク強化	継続

(3) 参画と協働のまちづくり

①参画機会の拡充と協働の推進：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
町政懇談会の実施 各種審議会・委員会の一般公募 計画等作成時のパブリックコメントの実施 (1) 広報・公聴・情報公開③積極的な情報公開と適切な個人情報保護の保護に記載のパブリックコメント実績	B	町政懇談会等を実施することにより、町民の声を聴く機会が増えた	さらなる町民の 声の掘り起し	継続 一般公募枠、パブリックコメントの拡充

②参画と協働の仕組みづくり：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
町長と各種団体との懇談会 (地域活動の活性化に向けた助成制度や地域への財源移譲などのあり方について研究)	B	各種団体の実情や地域に対する声を聴くことができた	さまざまな団体が一堂に会する 機会は設けられていない	継続 協働のまちづくりに取り組んでいく
町長と各種団体との懇談会 (町民や行政の役割、まちづくりの基本ルールなどを定めた自治基本条例の制定について検討)	C	各種団体の実情や地域に対する声を聴くことができた	自治基本条例の 制定	継続 自治基本条例の必要性の検討

2. 行財政運営

(1) 行政運営

①戦略的な行政運営の推進：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
毎年、重点施策テーマを設定し、重点施策について、予算配分等の強化を行っている。	B	重点施策について、横断的に連携を図り、事業を実施できた。	戦略的な行政運営のため、政策課題について優先順位化していく必要がある。	最適な事業方法の選択や効果の薄れた事業の見直し等を随時行っていく。
PDCA サイクルによる事業の執行管理体制について整備できていない。	D	—	PDCA サイクルによる事業の執行管理体制について整備できていない。	PDCA サイクルによる事業の執行管理体制を整備する。

②民間活力の活用：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
指定管理者制度や民間委託を推進し、住民サービスの向上と事務事業の効率化を進めた。	B	指定管理者制度：田尻町多目的グラウンド、放課後児童クラブ	民間活力の活用ができる事務事業を検討する。	民間活力の活用ができる事務事業について、活用を進める。

③行政評価の推進：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
平成 16 年度の試行期間を経て、平成 17 年度から 19 年度の 3 年間、事務事業評価を実施し、その後も継続的に見直しを行っている。	B	必要な事業の精査ができた。	一定の成果を得られたが、引き続き行政改革を実施していく必要がある。	常に行政改革の視点を持ち、施策展開を図る。

④施設の維持・管理と整備：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
公共施設等の状況を一元化し、今後の人口動態や財政状況を勘案した上で、公共施設等の計画的かつ効率的な管理運営を推進するため、H29.3 公共施設等総合管理計画策定した。	C	公共施設等総合管理計画の策定	公共施設の個別施設計画の策定・進捗管理 公共施設等総合管理計画の改定・進捗管理	公共施設の個別施設計画の策定・進捗管理 公共施設等総合管理計画の改定・進捗管理

④施設の維持・管理と整備：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
集会所管理業務委託（田尻町社会福祉協議会）	B	集会所の管理に社会福祉協議会を利用することにより、効果的な管理に繋がっている	施設の老朽化が進み、修繕箇所が増えている 住民による自主管理には至っていない	継続 両集会所の計画的な修繕・改築を進める

⑤柔軟な計画・執行体制の確立：秘書課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
定員管理計画（平成 25 年度～平成 29 年度）に基づき職員数の管理に取り組んだ。	B	平成 30 年度当初目標値である 128 人を 1 人上回る 129 人となったが、計画的採用による年齢構成の平準化に取り組むことが出来た。	年齢構成の平準化に取り組んできたものの、依然として歪な状況が継続している。	引き続き定員管理計画（平成 30 年度～平成 34 年度）に基づき、長期的な視点で町の将来を見据えた職員採用に取り組んでいく。
定例的に部課長会議を行うことにより、各部門間の情報の共有化を図り、必要に応じ担当者会議等を活用し、事業等の円滑な実施に努めた。	B	定期的な部課長会議の実施により、各部門間の情報の共有化が図られるとともに、必要に応じ担当者会議等を活用することにより、計画的に事業の実施に取り組むことが可能となった。	継続的な部課長会議の開催	引き続き定例的に部課長会議を行うことにより、各部門間の情報の共有化を図っていくとともに、必要に応じ担当者会議等を活用し、事業等の円滑な実施に取り組んでいく。

⑥職員の能力開発・向上：秘書課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
研修計画に基づき人材育成に努めてきた。また、平成 29 年度より、階層別研修を取り入れた。	B	階層別研修を取り入れることにより、各階層に求められる基礎能力の向上及び研修機会の提供が図られた。	各階層に必要とされる研修内容の精査を行っていくことが必要である。	今後も職員の人材育成を図るため、研修内容の精査を行いながら、研修計画の策定を行っていく。
平成 26 年度から 3 年間、職務に精励し、功績があった職員に対し、表彰を行った。	B	職員の士気高揚と組織の活性化が図られた。	職員の士気高揚と組織の活性化については、人事評価制度により行うべきであることから、職員表彰制度については、平成 28 年度を以て原則、終了している。	今後は、人事評価制度実施による勤勉手当等への反映を行っていく。

（２）財政運営

①計画的・効果的な予算編成：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
毎年財政シミュレーションを行い、10 年間の長期計画を作成している。	B	財政シミュレーションの実施。	投資的経費等の長期計画について、公共施設等総合管理計画と	引き続き、効率的な予算執行を行う。

			の調整を図る必要がある。	
経常的経費については枠配分方式を取り入れ、事業期間についても、予算編成時に定めている。	B	効果的な予算要求方式の導入を図った。	新しい効果的な予算編成方式について、調査・研究を図る必要がある。	引き続き、効果的な予算編成方式に努める。

②経費の節減：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
定員管理計画に基づく職員の採用を行い、施設の維持管理等のコスト削減に努めている。	B	定員管理計画策定、公共施設等総合管理計画の策定、予算の枠配分化	民間委託の推進や節約の徹底などにより、経常的な経費の削減に努める必要がある。	引き続き、人件費の適正化を図り、事業費や施設の維持・管理費等のコスト削減を図る。

③財源の確保：総務課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
地域産業の振興、企業誘致等に取り組み、安定的な税収確保に取り組んだ。また納税についてのPRや滞納整理事務の強化に努めている。	A	町税の徴収率 H26:99.8% H27:99.8% H28:99.8% H29:99.8%	今後とも状況を見極め、収支均衡を図っていく必要がある。	今度とも税収の確保に努める。
処分可能な遊休財産（楠の橋住宅跡地、露の口住宅跡地等）は処分済み	B	処分可能な遊休財産は処分済み	遊休財産が調整区域内にあるため、処分先限定される。	引き続き、遊休財産の処分、利活用を図る。

3. 広域連携

(1) 広域行政・広域連携の推進

①計画的な広域行政の推進：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
・広域福祉課設置（H25. 4. 1～泉佐野市に事務所） ・広域まちづくり課設置（H29. 10. 1～泉南市に事務所） ・一部事務組合の再編（ごみ、し尿）	A	—	—	継続

②広域行政組織の再編・強化：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
・泉州南広域連携勉強会を設置（H25～）広域化する行政課題について調査、研究を行い、広域連携による効率化を図るための勉強会を実施。 ・広域連携に関する研究会を設置（H29. 11～）新たな広域連携の促進につながるような具体的な方策を研究。	A	図書館広域利用に向けた会議（H30～） 泉南ブロック埋蔵文化財の広域連携に関する会議（H29～）	団体間の費用負担、人員体制、監事団体と構成団体の役割分担等	継続

(2) 住民交流の促進

：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
平成3年に当時同町名の自治体であったことから友好都市となり、産業や教育、また行政面で様々な連携活動を行ってきた。 最近では、平成29年度は、両市町の交流担当職員数名が相手方の市町を訪ね、産業の現状や地元物品の生産状況、シティプロモーションの状況などの情報交換を行い、ふるさと納税の返礼品交流や田尻漁港日曜朝市による両市町の魅力発信の具体策について検討した。 平成30年度は、昨年度の検討を踏まえ、大崎市の生産者グループが田尻漁港日曜朝市に出店し、地場製品のPRや販売ルートの開拓を目指し、住民主体での交流を行った。 また、ふるさと納税の返礼品交流については、両市町の交流担当職員が相手方の市町を訪ね、産業の現状や地元物品	B	大崎市の生産者グループが田尻漁港日曜朝市に出店し、地場製品のPRや販売を行ったことで、双方に刺激となり今後の販売ルートの開拓や住民主体での交流のきっかけづくりとなった。	地場産品交流について、ふるさと納税の返礼品交流を予定していたが、制度改正により、双方の地場産品の取り扱いができなくなったため、相互販路拡大に向けて検討していく。	両市町が異なる地域に存し同時被災の可能性が低いことから災害時相互応援の具体化を進めることや、気候風土が異なることを活かして地域特産品の相互販路拡大など地域産業の活性化などを検討していく。

の生産状況、シティプロモーションの状況など情報交換を行っていく。				
----------------------------------	--	--	--	--

Ⅱ－５ 戦略プロジェクト

(1) そだちプロジェクト

1) 「人そだち」を支援する：指導課・社会教育課・こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
田尻町人権教育研究協議会・田尻町外国人教育研究協議会の実施並びに幼小中の子ども同士・職員同士の交流	B	職員の異動を町内でも進めるように体制づくりができつつある。	校種による違いが、考えの相違にリンクしていること。フラットなものの方・考え方の醸成と、丁寧な情報共有が必要	校種間異動を進め、校種毎の文化の違いや子ども観の摺り合わせを進める。結果、一貫した考えのもと同じベクトルでの子育てを行う。
小中一貫教育部会は7つの部会（学力・体力・進路・授業づくり・ICT・道徳等）で事業を展開。何より小中の職員間の連携を重要視。	B	各部会での授業交流や情報共有を行うことで連携教育を推進できつつある。	職員の異動や発達段階の差によって求めるものからより一層の摺り合わせが必要。	保幼も含めた一貫教育の実現のため、ICT環境を活用した15年間に渡る情報共有を推進する。
中学2年生に親学習の実施教育相談の実施並びにSSW・SC・学校・教委との連携の強化	B	児童生徒対応を中心に、諸機関が連携してサポートを進められる体制整備が進んだ。	それぞれの意識の醸成や役割分担、何より当該者であるという気持ちを高める必要がある	地域に開かれた学校、おらが学校としての意義を大切に、町全体で子育てを進められるよう連携強化を進める。
土曜日の学校開放やハートフルコンサート、子ども110番ウォークラリーなど子どもたちの健やかな育ちをつなぐ環境づくりを実施。	B	子どもたちの健やかな育ちをつなぐ環境を形成。	指導者の育成、各団体の連携が課題。	左記内容を精査したうえで次期に反映。
生涯学習推進計画の推進にあたっては、地域活動やコミュニティの活性化にも結びつくように事業を実施。	B	生涯学習推進計画の推進にあたっては、地域活動やコミュニティの活性化にも結びつくように事業を実施。	地域人材が発掘・育成されるカリキュラムをつくるとともに、近隣の大学など関係機関・団体との連携	左記内容を精査したうえで次期に反映。
<第1章4.学校教育(1)「生きる力」を育む保・幼・小・中一貫教育の推進②魅力あふれる幼稚園づくりと同内容内容>	—	<同>	<同>	<同>

2) 「文化そだち」を支援する：企画人権課・指導課・こども課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
田尻町国際クラブへの補助金支出 グローバル人材育成事業(仮)について検討中	B	これまで国際クラブによる、各種国際交流事業・ふれあい交流祭り・国際支援等が実施されてきた。	国際交流活動を行っている団体が町内には田尻町国際クラブしかなく、その国際クラブも会員	継続

			の確保が困難となっている。	
グローバル人材育成事業(仮)について検討中	C	H31年度より実施予定	保・幼の関わり	継続
田植え・稲刈り(5歳児と小学3年生)、文化祭・合唱コンクールでの交流(幼小中)、たじりっ子祭りへの参加(幼小)	B	定例のものとして定着してきた	単発での取り組みに終わってしまっている	年間継続実施可能な取り組みの協議・検討
第1章4.学校教育(1)「生きる力」を育む保・幼・小・中一貫教育の推進②魅力あふれる幼稚園づくりと同内容内容	—	<同>	<同>	<同>

(2) やすらぎプロジェクト

1) 地域でのセーフティネットを充実する：企画人権課・生活環境課・福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
人権協会として田尻町地域包括ケア会議等に参加し、庁内関係課や各種団体と情報共有を図る。	C	庁内関係課や各種団体と情報共有が図れている。 各種ネットワークの有機的な連携と効率的な運営の検討は未実施。	各課において、横断的な協力が必要な中で、各課が所管するネットワークが複雑化しているため、核問題に対しての整理が必要。	継続実施
(ネットワークの充実に向けて、地域人材育成などの共通の課題について、協働で取り組みについて；企画人権課)	D	—	ネットワークの複雑化と共通課題の認識。	継続実施
直接的な事業展開はないが、必要に応じて助言等の事業サポートを行える体制を整えている	B	直接的なものはなし	特になし	今後も継続して業務を行う
高齢者虐待防止ネットワークの実施	B	地域包括ケア会議と同時開催し年1回高齢者虐待防止ネットワークを開催	—	—

2) 安全で快適な環境を創造する：危機管理課・福祉課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
町と自主防災会と共催し、防災訓練を実施し、安否確認、避難誘導等を行った。	B	町と自主防災会と共催で防災訓練を実施した。今後は田尻町の実情に応じた組織への改編を協議している。	—	—
災害時要支援者避難行動の個別計画に基づき避難訓練を実施H28	B	計画策定に同意を得た要支援者78名 個別計画作成53名	防災訓練に合わせ実施しているため、H29、H30は実施していない。	—

(3) にぎわいプロジェクト

1) 交流ゾーンを充実する：都市政策課・社会教育課・企画人権課・産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
りんくうポート北広場や田尻スカイブリッジのライトアップ等、交流ゾーン内の施設の連携方法や具体的なにぎわい作りに向けた施策展開について、庁内、住民等と検討を行う。	—	—	—	—
田尻歴史館の保全と来館者の安全確保のため耐震補強工事に着手	B	—	交流ゾーンとしての動線が確保できていない。	交流ゾーンとしての動線の整備を盛込む。
交流ゾーンの充実については、交流ゾーンの中心的施設として、仮称りんくうポート北広場等整備において、都市政策課が主となり、平成 29 年度に住民ワークショップを開催し、平成 30 年度基本設計、実施設計を行っている。	A	都市政策課の回答どおり	—	—
(産業振興課)	D	—	—	—

2) 産業間の連携を図り、魅力を高める：都市政策課・産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
周辺施設等と連携したにぎわい作りを行うため、大阪府との協議調整を開始する。	—	—	—	—
(産業振興課)	D	—	—	—

3) 観光振興体制を充実する 産業振興課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
観光情報発信 (HP 等、DMO 等)	C	—	—	—
人材ネットワーク	D	—	—	—

(4) つながりプロジェクト

1) 町民間のつながりを強め、広げる：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取組み方向
地区会や各団体にとっての共通の場(プラットフォーム)の設置・支援には至っていない	C	地区会や各団体にとっての共通の場(プラットフォーム)の設置・支援には至っていない	地区会や各団体にとっての共通の場(プラットフォーム)の設置・支援	継続
嘉祥寺地区会の認可地縁団体化	C	嘉祥寺地区会の認可地縁団体化	町民行動計画の作成	継続

2) 庁内のつながりと町民とのつながりを強め、広げる：企画人権課

実施内容・実績	進捗状況	成果	課題	次期計画の取り組み方向
総合計画の基本計画や実施計画の推進状況の検証などについて、住民参加のもとに、新たなチェック体制を充実させて実施すべきところであるが、おこなえていないのが現状である。	D	総合計画の基本計画や実施計画の推進状況の検証などについて、住民参加のもとに、新たなチェック体制を充実させて実施すべきところであるが、おこなえていないのが現状である。	総合計画の基本計画や実施計画の推進状況の検証などについては、事務が煩雑であり、負担が多い。	町で無理なく進行管理できる総合計画のあり方を検討する。

